



佛教大学

総合案内 2023

BUKKYO UNIVERSITY

## CONTENTS

沿革	2
建学の理念ならびに使命と目的	4
教育研究上の目的	5
教育方針(三つのポリシー)	6
学部/学科	7
大学院	18
通信教育課程/別科	20
附属施設・附置機関	21
教育機構	22
事務機構	23
役職者/教員・職員数	24
入試・入学状況	25
在籍学生数	28
卒業生・学位授与者・修了者数	32
進路・就職	33
教員免許状・資格取得者数/実習実施者数	35
国家試験合格率	36
宗教情操行事	37
国際交流	38
社会連携	40
課外活動	42
奨学金	43
学費	45
財務状況	47
図書館/法然仏教学研究センター	49
宗教文化ミュージアム	50
外部資金/土地・建物面積	51
同窓会/教育後援会	52
キャンパス・附置機関マップ	53

## 学章



本学が建学の理念の拠り所としている浄土宗をひらかれた法然上人の生家の家紋であった杏葉に大学の文字を配したものです。仏教の精神、浄土宗創建の理念に基づき、世界の福祉と文化の向上に貢献する人材の養成を旗印としています。

## ロゴマーク



佛敎大学のイニシャルである“B”をモチーフに、斬新で個性あふれる独創的なフォルムを形づくっています。シンボルカラーは、佛敎大学の所在地の地名「紫野」にちなんだ「紫」を用いています。“B”の曲線から流れ出る5本のラインは、佛敎大学で学ぶすべての人々が織りなす生命の軌跡です。カラフルな色彩は、教える者、教えられる者ひとり一人が自分自身の個性を大切にしながら互いにふれ合い、力強く自由に成長していく姿を表現しています。

## マスコットキャラクター

開学100周年記念事業の一環として、有志の学生グループが中心となり制作に取り組みました。学生たちの熱心な活動が実を結び、2010年10月23日の創立記念日に公式マスコットキャラクターとして発表されました。また、ネーミングは1,400件を越える応募の中から「ぶったん」と決定しました。



## 学歌

作詞:小西存祐 作曲:吉田恒三 (1936年4月制定)

一、 高 <sup>たかね</sup> 輝 <sup>か</sup> る千古 <sup>せんこ</sup> の都	二、 礙 <sup>さ</sup> られぬ光 <sup>ひかり</sup> こめたり	三、 仰 <sup>あや</sup> ぎ見 <sup>み</sup> よ華 <sup>は</sup> 頂 <sup>てい</sup> の峰	四、 世 <sup>よ</sup> はあげて五 <sup>ご</sup> 濁 <sup>じやく</sup> に悩 <sup>なや</sup> む
若 <sup>わ</sup> 草 <sup>くさ</sup> の萌 <sup>も</sup> 出 <sup>で</sup> るところ	黒 <sup>くろ</sup> 谷 <sup>や</sup> の春 <sup>はる</sup> のあけぼの	そ <sup>そ</sup> の高 <sup>たか</sup> き教 <sup>きやう</sup> ぞ栄 <sup>えい</sup> ゆる	い <sup>い</sup> ざ起 <sup>お</sup> ちて仏 <sup>ぶつ</sup> 土 <sup>ど</sup> 浄 <sup>じやう</sup> めん
こ <sup>こ</sup> こ鷹 <sup>たか</sup> 陵 <sup>りやう</sup> の吾 <sup>われ</sup> 等 <sup>ら</sup> が学 <sup>がく</sup> 舎 <sup>しゃ</sup>	誰 <sup>た</sup> ぞ開 <sup>ひら</sup> く報 <sup>ほう</sup> 恩 <sup>おん</sup> 蔵 <sup>ぞう</sup>	還 <sup>げん</sup> 愚 <sup>ぐ</sup> 痴 <sup>ち</sup> の聖 <sup>せい</sup> 在 <sup>ざい</sup> ませり	選 <sup>せん</sup> 択 <sup>たく</sup> の御 <sup>おん</sup> 旗 <sup>か</sup> がざして
こ <sup>こ</sup> こ鷹 <sup>たか</sup> 陵 <sup>りやう</sup> の吾 <sup>われ</sup> 等 <sup>ら</sup> が学 <sup>がく</sup> 舎 <sup>しゃ</sup>	誰 <sup>た</sup> ぞ開 <sup>ひら</sup> く報 <sup>ほう</sup> 恩 <sup>おん</sup> 蔵 <sup>ぞう</sup>	還 <sup>げん</sup> 愚 <sup>ぐ</sup> 痴 <sup>ち</sup> の聖 <sup>せい</sup> 在 <sup>ざい</sup> ませり	選 <sup>せん</sup> 択 <sup>たく</sup> の御 <sup>おん</sup> 旗 <sup>か</sup> がざして
こ <sup>こ</sup> こ鷹 <sup>たか</sup> 陵 <sup>りやう</sup> の吾 <sup>われ</sup> 等 <sup>ら</sup> が学 <sup>がく</sup> 舎 <sup>しゃ</sup>	誰 <sup>た</sup> ぞ開 <sup>ひら</sup> く報 <sup>ほう</sup> 恩 <sup>おん</sup> 蔵 <sup>ぞう</sup>	還 <sup>げん</sup> 愚 <sup>ぐ</sup> 痴 <sup>ち</sup> の聖 <sup>せい</sup> 在 <sup>ざい</sup> ませり	選 <sup>せん</sup> 択 <sup>たく</sup> の御 <sup>おん</sup> 旗 <sup>か</sup> がざして



## 学部

### 仏教学部

仏教学科

### 文学部

日本文学科 / 中国学科 / 英米学科

### 歴史学部

歴史学科  
歴史文化学科

### 教育学部

教育学科 / 幼児教育学科  
臨床心理学科

### 社会学部

現代社会学科  
公共政策学科

### 社会福祉学部

社会福祉学科

### 保健医療技術学部

理学療法学科 / 作業療法学科  
看護学科

## 大学院

### 文学研究科

仏教学専攻 (修士・博士後期)  
文学専攻 (修士・博士後期)  
歴史学専攻 (修士・博士後期)

### 教育学研究科

生涯教育専攻 (修士・博士後期)  
臨床心理学専攻 (修士・博士後期)

### 社会学研究科

社会学専攻 (修士・博士後期)

### 社会福祉学研究科

社会福祉学専攻 (修士・博士後期)

## 別科

### 別科(仏教専修)

## 通信教育課程

### 学部(本科)

■仏教学部 ●仏教学科 浄土・仏教コース／仏教文化コース  
■文学部 ●日本文学科 ●中国学科 ●英米学科  
■歴史学部 ●歴史学科 日本史コース／東洋史コース  
西洋史コース  
●歴史文化学科 考古学・地理学コース  
民俗学・文化人類学コース  
芸術文化コース／京都学コース  
●幼児教育学科  
●現代社会学科 ●公共政策学科  
●社会福祉学科 ●社会福祉学科

### 大学院

■文学研究科 仏教学専攻(修士・博士後期)／文学専攻(修士)  
歴史学専攻(修士・博士後期)  
■教育学研究科 生涯教育専攻(修士)／臨床心理学専攻(修士)  
■社会学研究科 社会学専攻(修士)  
■社会福祉学研究科 社会福祉学専攻(修士)

### その他の課程

■課程本科 教員免許状取得課程・資格取得課程  
■科目履修コース 教員免許状課程・資格課程・教養課程  
特別制度による幼稚園教諭免許状  
保育士資格課程  
■本科入学資格コース  
■免許法認定通信教育

## 附属施設・附置機関

附属図書館(浄土宗文献室を含む) 高大連携センター 宗教教育センター(宗門後継者養成道場を含む) 健康管理センター  
学生相談センター 教職支援センター 専門職キャリアサポートセンター 国際交流センター 法然仏教学研究センター  
総合研究所 臨床心理学研究センター 宗教文化ミュージアム 社会連携センター オープンラーニングセンター  
人権教育センター 附属こども園

## 関連施設

(福)和順共生会 特別養護老人ホーム「和順の里」



# 沿革

1868(明治 元)年		・知恩院山内の源光院に仏教講究の機関を設置
1870(明治 3)年	1月	・知恩院山内の源光院に仮勸学場を開設
1898(明治 31)年	8月	・浄土宗制の変更により、浄土宗学本校の高等専門科を浄土宗専門学院へ改称、仮校舎を大本山百万遍知恩寺に設置
1901(明治 34)年	9月	・校舎を洛東如意ヶ獄の山麓、鹿ヶ谷に新築移転
1904(明治 37)年	5月	・専門学校令準拠に伴い、芝の伝道講習院と合併し浄土宗教大学院へ改称、京都に浄土宗教大学院専門科(分校)を設置
1907(明治 40)年	4月	・浄土宗学制の改革により浄土宗大学を宗教大学へ改称。浄土宗大学専門科(分校)を宗教大学専門科(分校)へ改称
1912(明治 45)年	4月	・財団法人浄土宗教学資団設立
	5月	・【開学】宗教大学より独立。分校を廃止し専門学校令により高等学院設置
1913(大正 2)年	4月	・高等学院を佛教専門学校に改称
1934(昭和 9)年	1月	・市内上京区鷹野北町(現 北区紫野北花ノ坊町)に移転増築
1949(昭和 24)年	4月	・学制改革に伴い、佛教大学を設立、仏教学部仏教学科設置
1951(昭和 26)年	3月	・佛教専門学校廃止
		・組織変更により学校法人浄土宗教育資団設立
1953(昭和 28)年	4月	・通信教育課程開設。仏教学部仏教学科開設
1957(昭和 32)年	4月	・仏教学専攻科設置
1962(昭和 37)年	4月	・仏教学部仏教福祉学科設置
1963(昭和 38)年	4月	・通信教育課程に仏教学部仏教福祉学科開設
1965(昭和 40)年	3月	・仏教学部仏教学科、仏教福祉学科廃止(通学、通信両課程とも)
	4月	・文学部設置。文学部仏教学科、国文学科、社会福祉学科設置
		・通信教育課程に文学部開設。文学部仏教学科、国文学科、社会福祉学科開設
1966(昭和 41)年	4月	・文学部史学科設置
		・通信教育課程に文学部史学科開設
1967(昭和 42)年	4月	・社会学部設置。社会学部社会学科、社会福祉学科設置
		・通信教育課程に社会学部開設。社会学部社会学科、社会福祉学科開設
		・大学院文学研究科仏教学専攻(修士課程)、浄土学専攻(修士課程)設置
1968(昭和 43)年	4月	・文学部教育学科設置
		・通信教育課程に文学部教育学科開設
1969(昭和 44)年	4月	・大学院文学研究科仏教学専攻(博士後期課程)設置
1971(昭和 46)年	4月	・大学院文学研究科日本史学専攻(修士課程)、東洋史学専攻(修士課程)、社会学研究科社会福祉学専攻(修士課程)設置
		・通信教育課程に仏教学専攻科開設
1973(昭和 48)年	4月	・大学院社会学研究科社会学専攻(修士課程)設置
1975(昭和 50)年	4月	・文学部英文学科設置
1976(昭和 51)年	4月	・付属幼稚園設置
1977(昭和 52)年	4月	・大学院文学研究科日本史学専攻(博士後期課程)、東洋史学専攻(博士後期課程)、社会学研究科社会学・社会福祉学専攻(博士後期課程)設置
		・別科(仏教専修)設置(浄山道場開設)
1981(昭和 56)年	4月	・通信教育課程に文学部英文学科開設
		・大学院文学研究科国文学専攻(修士課程)設置
1984(昭和 59)年	11月	・四条センター開設
1986(昭和 61)年	4月	・文学部中国文学科設置
1987(昭和 62)年	4月	・大学院文学研究科英米文学専攻(修士課程)設置
1989(平成 元)年	4月	・教育学部設置。教育学部教育学科、社会教育学科、社会学部応用社会学科設置
1991(平成 3)年	4月	・通信教育課程に文学部中国文学科開設
		・大学院文学研究科国文学専攻(博士後期課程)、仏教文化専攻(修士課程)設置
		・総合研究所開設(仏教文化、仏教社会事業、歴史、心理学、社会学研究所の旧5研究所を統廃合)
1992(平成 4)年	6月	・ロサンゼルス校(B.U.L.A.)開校
1993(平成 5)年	4月	・大学院文学研究科中国文学専攻(修士課程)、教育学研究科生涯教育専攻(修士課程)設置
1995(平成 7)年	4月	・通信教育課程に社会学部応用社会学科開設
		・大学院文学研究科英米文学専攻(博士後期課程)設置
		・臨床心理学研究センター開設

1996(平成 8)年	4月	・通信教育課程に教育学部教育学科開設
1998(平成10)年	4月	・大学院文学研究科浄土学専攻(博士後期課程)、仏教文化専攻(博士後期課程)、中国文学専攻(博士後期課程)設置
1999(平成11)年	4月	・教育学部社会教育学科を生涯学習学科に学科名称変更 ・通信制大学院開設。文学研究科浄土学専攻、仏教学専攻、仏教文化専攻、日本史学専攻、東洋史学専攻、中国文学専攻、英米文学専攻(修士課程)、教育学研究科生涯教育専攻(修士課程)、社会学研究科社会福祉学専攻(修士課程)開設
2000(平成12)年	4月	・教育学部臨床心理学科、社会学部健康福祉学科設置 ・福祉教育開発センター設置
2001(平成13)年	4月	・文学部国文学科を日本語日本文学科に、中国文学科を中国語中国文学科に、英文学科を英語英米文学科に学科名称変更(通学、通信両課程とも) ・大学院教育学研究科生涯教育専攻(博士後期課程)設置 ・通信教育課程に大学院文学研究科国文学専攻(修士課程)、社会学研究科社会学専攻(修士課程)開設
2002(平成14)年	2月	・学校法人華頂学園との法人合併認可
	4月	・大学院教育学研究科臨床心理学専攻(修士課程)設置
2003(平成15)年	4月	・通信教育課程に大学院文学研究科仏教学専攻(博士後期課程)、日本史学専攻(博士後期課程)、教育学研究科臨床心理学専攻(修士課程)開設 ・アジア宗教文化情報研究所設置
2004(平成16)年	3月	・通信教育課程の仏教学専攻科廃止
	4月	・社会福祉学部設置。文学部人文学科、社会学部現代社会学科、公共政策学科、社会福祉学部社会福祉学科設置 ・通信教育課程に社会福祉学部開設。文学部人文学科、社会学部現代社会学科、公共政策学科、社会福祉学部社会福祉学科開設 ・文学部中国語中国文学科を中国学科に、英語英米文学科を英米学科に学科名称変更(通学、通信両課程とも)
2005(平成17)年	4月	・大学院教育学研究科臨床心理学専攻(博士後期課程)設置
2006(平成18)年	4月	・保健医療技術学部設置。保健医療技術学部理学療法学科、作業療法学科設置 ・大学院社会学研究科社会学専攻(博士後期課程)、大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻(修士課程、博士後期課程)設置 ・通信教育課程に大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻(修士課程)開設
2007(平成19)年	3月	・財団法人大学基準協会(学校教育法第110条に基づく認証評価機関)による「大学基準」適合認定【認定期間:2014(平成26)年3月31日まで】 ・仏教学専攻科廃止
2008(平成20)年	4月	・アジア宗教文化情報研究所を宗教文化ミュージアムへ改称
2009(平成21)年	1月	・学校法人東山学園との法人合併認可
	4月	・学校法人浄土宗教育資団を学校法人佛教教育学園に法人名称変更 ・佛教大学付属幼稚園を佛教大学附属幼稚園に園名変更
2010(平成22)年	4月	・仏教学部、歴史学部設置。仏教学部仏教学科、歴史学部歴史学科、歴史文化学科、文学部日本文学科設置 ・通信教育課程に仏教学部、歴史学部開設。仏教学部仏教学科、歴史学部歴史学科、歴史文化学科、文学部日本文学科開設
2011(平成23)年	4月	・二条キャンパス開校
2012(平成24)年	4月	・開学100周年 ・通信教育課程開設60年 ・保健医療技術学部看護学科設置
2013(平成25)年	3月	・公益財団法人大学基準協会(学校教育法第110条に基づく認証評価機関)による「大学基準」適合認定【認定期間:2020(平成32)年3月31日まで】
2014(平成26)年	4月	・法然仏教学研究センター開設
	11月	・佛教大学四条センター開設30周年
2015(平成27)年	4月	・大学院文学研究科仏教学専攻、文学専攻、歴史学専攻(修士課程、博士後期課程)設置 ・通信教育課程に大学院文学研究科仏教学専攻、文学専攻、歴史学専攻(修士課程)、仏教学専攻、歴史学専攻(博士後期課程)開設
2016(平成28)年	10月	・礼拝堂(水谷幸正記念館)竣工
2017(平成29)年	3月	・紫野キャンパス整備事業完了 ・ロサンゼルス校(B.U.L.A.)閉校
2020(令和 2)年	3月	・公益財団法人大学基準協会(学校教育法第110条に基づく認証評価機関)による「大学基準」適合認定【認定期間:2027(令和9)年3月31日まで】
	10月	・佛教大学四条センターを紫野キャンパスへ移転
2021(令和 3)年	3月	・福祉教育開発センター廃止
	4月	・総合研究所開設30周年 ・佛教大学オープンラーニングセンター(O.L.C.)開設(四条センター改称)
2022(令和 4)年	4月	・教育学部幼児教育学科設置 ・通信教育課程に教育学部幼児教育学科開設
2023(令和 5)年	4月	・佛教大学附属こども園設置(附属幼稚園から移行)

# 1 佛教大学の建学の理念ならびに使命と目的

佛教大学は、学則第1条に示す通り仏教精神を建学の理念とし、大学の責務である「人材養成」を目的とし、「教育」「研究」「社会貢献」の三領域において、仏教精神に基づく多様な活動を行いながら、世界文化の向上と人類福祉の増進に貢献することを使命として、これを達成するために相応しい教育研究組織を設置しています。

## 【学則第1条】

「本学は学校教育法（昭和22年法律第26号）に基き、仏教精神により人格識見高邁にして、活動力ある人物の養成を目的とし、世界文化の向上、人類福祉の増進に貢献することを使命とする」

## 【仏教精神】

本学が建学の理念としている仏教精神とは、仏教を開いたゴータマ・ブッダ（釈尊）と浄土宗を開いた法然上人とに共通する生き方と考え方を指します。釈尊は「私とは何か」「私はどう生きるか」そして「私は自分自身に何を期待できるのか」つまり私の生きる道＝人の生きる道を求めて修行し、その道を成就して、われわれに人として歩むべき道を説き示したのです。一方、法然上人は、末法とも呼ばれた混乱の続く不安定な時代にあって、生きることに苦しみ、天災地変や戦乱の苦しみに喘ぐ人々の中で、大乘仏教に私の生きる道＝人の生きる道を求め、自己の愚かさを自覚し、念仏の道を体得し、すべての人が等しく導かれる道を説いたのです。ブッダによってはじめられ、法然上人によって受け継がれた生き様と考え方こそ、「転識得智」なのです。それは現実の生き方の中で、常に己自身のあり方をしっかりと見つめながら、学んできた知識を人生のさまざまな場において何を為すべきか判断する力、実行してゆく力、すなわち生きる力へと転換してゆける智慧を得ることなのです。この二人に共通する生き方こそが仏教精神に他なりません。この精神にのっとり、自らも生かされている社会において、他に幸せを分かち与え、他の苦をぬぐい去る慈悲のころをもつて、自らが生きていることを活かしてゆける人材の養成を目指します。

# I 佛教大学の教育研究上の目的

佛教大学は、使命と目的に基づいて、以下のように具体的な教育研究上の目的を設定し、大学の教育事業を展開していきます。

## 人材養成の目的

- 1 仏教精神に基づいて、豊かな人間性、確固たる倫理観、智慧と慈悲を身につけた人材、すなわち「人間力」をもった人材を養成する
- 2 生老病死に関わる諸問題に対応できる人材を養成する
- 3 社会人として必要な教養や知識・技能を身につけた人材を養成する
- 4 自己をみつめ自己を理解する力、周囲の環境や人間を理解する力を身につけ広い視野で思考できる人材を養成する
- 5 専門領域に関する知識や技能を修得し、自ら問題を発見し、個人あるいは共同でその解決に積極的に取り組み、解決策を提示できる人材を養成する

## その他の教育研究上の目的

### 1. 教育

- 1 人材養成の目的に基づいた多様な教育課程を提供する
- 2 幅広い人々に向けて生涯にわたる学修の機会を提供する
- 3 正課・課外の両面にわたって学生への支援を充実する
- 4 専門領域に応じたキャリア形成支援を推進する

### 2. 研究

- 1 人文科学領域における最新の研究を遂行する
- 2 社会科学領域における最新の研究を遂行する
- 3 自然科学・保健医療技術領域における最新の研究を遂行する
- 4 それぞれの専門領域における研究成果を積極的に教育へ還元する

### 3. 社会貢献

- 1 実践や実習、ボランティアなどを通じて地域社会へ貢献する
- 2 研究成果を積極的に社会に還元し貢献する
- 3 さまざまな学びの機会、生涯にわたる学びの機会を提供することで社会に貢献する
- 4 さまざまな領域に優れた人材を輩出し社会に貢献する

# 佛教大学の教育方針（三つのポリシー）

佛教大学は、建学の理念に基づき、使命と目的ならびに教育研究上の目的を達成するために、ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）、アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）を以下の通り定めます。

## 佛教大学のディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

人材養成の目的にも示したように、本学は仏教精神に基づいて、豊かな人間性、確固たる倫理観、智慧と慈悲を身につけた人材、すなわち「人間力」をもった人材の養成を目指しています。具体的には「転識得智」すなわち社会人として必要な教養や知識・技能および専門知識を生きる力（応用力）へと導く力を培うことを目的とします。

以下に示す力を修得するとともに、学部・学科の人材養成の目的に基づいて設定された教育課程を修めた学生に対して、本学は卒業を認定し学位（学士）を授与します。

- 1 仏教精神に基づいて、豊かな人間性、確固たる倫理観、智慧と慈悲を身につけている
- 2 仏教精神に基づき、人生における諸問題に対応する力をもっている
- 3 社会人として必要な教養や知識・技能を身につけている
- 4 自己をみつめ自己を理解する力、周囲の環境や人間を理解する力を身につけ広い視野で思考できる力をもっている
- 5 専門領域に関する知識や技能を修得し、問題把握力と問題解決力を身につけている

## 佛教大学のカリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本学はディプロマポリシーに掲げる内容を修得できるよう、各科目群にわたって学生が主体的に学ぶアクティブ・ラーニングを積極的に取り入れ、獲得した知識・技能を生きる力（応用力）として定着させます。また、単位修得状況およびGPA等の基準に基づき、知識・技能の修得度を評価します。そのため、順次性・体系性を重視した教育課程を以下の通り編成し、卒業研究（論文・レポート等）によって4年間の学修成果とします。

- 1 仏教精神に基づいて、豊かな人間性、確固たる倫理観、智慧と慈悲を培うための科目を提供する
- 2 社会人として必要な教養や知識・技能を身につけるために、全学共通科目および全学教養科目の科目群を提供する
  - ア 現代社会で活動するために必要な基礎的人間力を養成するための科目
  - イ 国際的感覚をもち、異文化を理解するために必要な基礎語学力を身につけるための科目
  - ウ アカデミックライティングを修得する初年次科目
  - エ 大学生として学問に向かう基本的な姿勢を修得する科目
  - オ 専門学修を経たうえで、社会人として批判的かつ多角的に物事を判断できる力を身につける科目
- 3 学部・学科の専門領域に関する知識・技能を修得し、問題把握力と問題解決力を涵養するための科目群として、以下のような専門科目を提供する。
  - ア 学部の学修の基幹をなす科目
  - イ 学科のスタディスキルを学ぶ初年次科目「入門ゼミ」をはじめ、学科の学修の基礎となる科目
  - ウ 学科における専門学修の中核となる科目
  - エ 学部・学科の専門学修に関連して学びを補完する科目

## 佛教大学のアドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

本学は、ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーに掲げた内容を修得できる人材として、多様な選考方法を通じて、次に掲げるポリシー（一部またはすべて）に示した意欲と力をもつ人を受け入れます。

### 佛教大学が求める学生像

- 1 佛教大学の建学の理念を理解し、本学で学びたいという明確な目的と強い意思をもつ人
- 2 社会において必要な教養と、社会で通用する実践力を身につけたいと望む人
- 3 自分が関心を有する分野で、社会に貢献するための判断力・行動力・技術を身につけ、地域において貢献したいと考える人

### 佛教大学のアドミッションポリシー

- 1 高等学校等の学習を通じて基礎的な知識・技能を幅広く修得している人
- 2 自分で課題を見つけだし、それを解決するために、自ら積極的に学ぶ強い意思をもつ人
- 3 正課だけでなく、正課外での活動も活発に行い、優れたリーダーシップやチームワーク力のある人
- 4 専攻する分野に関心をもち、その分野で活躍したいという意欲をもつ人
- 5 明確な目的を定め、目的達成のために粘り強く力を発揮することのできる人
- 6 実社会での経験・実績などを活用して、常に向上心を抱き、主体的に学習に取り組んでいく姿勢をもつ人
- 7 浄土宗の教師資格を取得し、浄土宗僧侶として社会に貢献しようという意思をもつ人

以上のアドミッションポリシーを組み合わせることによって、本学は入学試験を実施しています。



# 学部 / 学科

## 仏教学部

### ディプロマポリシー(卒業認定・学位授与の方針)

- ① 仏教および仏教に関連する研究領域に関わる基礎的知識と専門的知識を修得し、それを表現し、発信していく力を身につけている
- ② 社会人に必要とされる教養として、基礎的な読解力、歴史を正しく理解する力、問題を発見し解決策を検討する力、問題にアプローチするために資料を収集し、批判的に思考しながら読解する力、問題に多面的な検討を加えて解答を導き出し、それを論理的に表現する力を身につけている
- ③ 以下の二つのうち、いずれか一つの力を身につけている
  - ア 浄土宗教師(浄土宗僧侶)として、仏祖・宗祖の精神を備え、それを伝え広めていく力
  - イ 仏教を学ぶことで培われた知識や技能を、社会のさまざまな場所で積極的に発揮していく力
- ④ 現代社会が抱えるさまざまな問題を理解し対応する力を身につけている
- ⑤ 仏教が日本を含むアジアの人々の生活文化の中で果たしてきた役割を再発見、再評価し、それを社会に発信する力を身につけている

### カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)

仏教学部では、仏教に関する体系的な学修を進めることができるように、段階的な科目開講を行い、基礎知識から専門知識まで着実に蓄積されるような教育課程を編成し、仏教および仏教に関連する研究領域に関わる基礎的科目ならびに専門的科目を配置する

- ① 仏教精神に基づいて、豊かな人間性、確固たる倫理観、智慧と慈悲を培うための科目を提供する
- ② 社会人として必要な教養や技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を提供する
- ③ 仏教精神を社会で活かすために、読解力から表現力に至るまでの、以下の科目群を提供する
  - ア 仏教を学ぶに際して基本となる読解力を身につけるための基礎科目
  - イ 仏教の長期にわたる変容の歴史を正しく理解するための歴史科目
  - ウ 仏教に関わる多様な問題に多面的にアプローチすることで、さまざまな問題を発見し、それを解決する方法を思索するための研究科目

- エ 仏教に関わるさまざまな問題にアプローチするための方法として、関連する資料を収集し、批判的に思考しながら資料を読解する力を培う講読科目
- オ 仏教に関わるさまざまな問題に関して、多面的な検討を加えるとともに、一定の解答を導き出し、それを論理的に表現する力(話す力・書く力)を培う演習科目
- ④ 以下の二つのうち、いずれか一つの力を身につけるためのカリキュラムを提供する
  - ア 浄土宗教師(浄土宗僧侶)として、仏祖・宗祖の精神を備え、それを伝え広めていく力
  - イ 仏教を学ぶことで培われた知識や技能を、社会のさまざまな場所で積極的に発揮していく力
- ⑤ 現代社会が抱えるさまざまな問題を理解し対応する力を培うために、仏教と現代諸科学に関する科目や実践・体験に関わる科目を提供する
- ⑥ 仏教が日本を含むアジアの人々の生活文化の中で果たしてきた役割を再発見、再評価し、それを社会に発信する力を培うための科目を提供する
- ⑦ 卒業後の進路に応じた各種の免許状・資格を取得することができるカリキュラムの一部を提供する

### アドミッションポリシー(入学者受入れの方針)

#### ● 仏教学部が求める学生像

- ① 仏教に対する旺盛な関心と、幅広い読書力をもっている人
- ② 話を聞きとる力、話を筆記する力、自らの考えを表現する力、読書する力、鑑賞する力などが学問を志す者にとって必要であることを理解している人
- ③ アジアの人々の生活の中に、言語や造形や音楽や芸能などを通して根をおろした仏教文化に強い関心を持ち、それらに対する専門的な知識を身につけたいと思っている人
- ④ 浄土宗教師の中で、特に浄土宗を担うリーダーとなることを目指し、積極的に学ぶ強い意思と自覚をもつ人

## 仏教学部

## 仏教学科

取得学位：学士(文学)

### ディプロマポリシー(卒業認定・学位授与の方針)

- ① 仏教および仏教に関連する研究領域に関わる基礎的知識と専門的知識を修得し、それを表現し、発信していく力を身につけている
- ② 社会人に必要とされる教養として、基礎的な読解力、歴史を正しく理解する力、問題を発見し解決策を検討する力、問題にアプローチするために資料を収集し、批判的に思考しながら読解する力、問題に多面的な検討を加えて解答を導き出し、それを論理的に表現する力を身につけている
- ③ 以下の二つのうち、いずれか一つの力を身につけている
  - ア 浄土宗教師(浄土宗僧侶)として、仏祖・宗祖の精神を備え、それを伝え広めていく力
  - イ 仏教を学ぶことで培われた知識や技能を、社会のさまざまな場所で積極的に発揮していく力
- ④ 現代社会が抱えるさまざまな問題を理解し対応する力を身につけている
- ⑤ 仏教が日本を含むアジアの人々の生活文化の中で果たしてきた役割を再発見、再評価し、それを社会に発信する力を身につけている

### カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)

仏教学部では、仏教に関する体系的な学修を進めることができるように、段階的な科目開講を行い、基礎知識から専門知識まで着実に蓄積されるような教育課程を編成し、仏教および仏教に関連する研究領域に関わる基礎的科目ならびに専門的科目を配置する

- ① 仏教精神に基づいて、豊かな人間性、確固たる倫理観、智慧と慈悲を培うための科目を提供する
- ② 社会人として必要な教養や技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を提供する

- ③ 仏教精神を社会で活かすために、読解力から表現力に至るまでの、以下の科目群を提供する
  - ア 仏教を学ぶに際して基本となる読解力を身につけるための基礎科目
  - イ 仏教の長期にわたる変容の歴史を正しく理解するための歴史科目
  - ウ 仏教に関わる多様な問題に多面的にアプローチすることで、さまざまな問題を発見し、それを解決する方法を思索するための研究科目
- エ 仏教に関わるさまざまな問題にアプローチするための方法として、関連する資料を収集し、批判的に思考しながら資料を読解する力を培う講読科目
- オ 仏教に関わるさまざまな問題に関して、多面的な検討を加えるとともに、一定の解答を導き出し、それを論理的に表現する力(話す力・書く力)を培う演習科目
- ④ 以下の二つのうち、いずれか一つの力を身につけるためのカリキュラムを提供する
  - ア 浄土宗教師(浄土宗僧侶)として、仏祖・宗祖の精神を備え、それを伝え広めていく力
  - イ 仏教を学ぶことで培われた知識や技能を、社会のさまざまな場所で積極的に発揮していく力
- ⑤ 現代社会が抱えるさまざまな問題を理解し対応する力を培うために、仏教と現代諸科学に関する科目や実践・体験に関わる科目を提供する
- ⑥ 仏教が日本を含むアジアの人々の生活文化の中で果たしてきた役割を再発見、再評価し、それを社会に発信する力を培うための科目を提供する
- ⑦ 卒業後の進路に応じた各種の免許状・資格を取得することができるカリキュラムの一部を提供する

# 学部 / 学科

## アドミッションポリシー(入学受入れの方針)

### ●仏教学科が求める学生像

- ① 仏教に対する旺盛な関心と、幅広い読書力をもっている人
- ② 話を聞きとる力、話を筆記する力、自らの考えを表現する力、読書する力、鑑賞する力などが学問を志す者にとって必要であることを理解している人
- ③ アジアの人々の生活の中に、言語や造形や音楽や芸能などを通して根をおろした仏教文化に強い関心を持ち、それらに対する専門的な知識を身につけたいと思っている人
- ④ 浄土宗教師の中で、特に浄土宗を担うリーダーとなることを目指し、積極的に学ぶ強い意思と自覚をもつ人

### 通学課程

- 1949年 仏教学部仏教学科設置
- 1965年 文学部仏教学科設置
- 2004年 文学部人文学科設置
- 2010年 仏教学部仏教学科設置

### 通信教育課程

- 1953年 仏教学部仏教学科開設
- 1965年 文学部仏教学科開設
- 2004年 文学部人文学科開設
- 2010年 仏教学部仏教学科開設

## 文学部

### ディプロマポリシー(卒業認定・学位授与の方針)

- ① 社会のさまざまな事象について、建学の理念によって培われた倫理観に基づいて判断を下し、かつ修得した知識を活用して社会的責任を果たすことができる
- ② 日本、中国、英語圏の諸言語・諸文化に関するそれぞれの専門領域において、深い知識と理解力を身につけている
- ③ 日本、中国、英語圏の諸言語・諸文化に関するそれぞれの専門領域において、テーマを設定して自らの見解をまとめることができる
- ④ 選択した専門領域以外の関連領域について、基礎的な知識を身につけている
- ⑤ 国際交流の場において、相互理解のために情報の受信者あるいは発信者として活動できる一定の知識と能力を身につけている

- ④ 専門的知識の獲得と理解力の深化をめざし、言語、文学、思想に関する科目を体系的に配置する
- ⑤ 言語を基盤とした文化に関する知識と理解力を養成するための科目を体系的に設ける
- ⑥ 長期の海外留学制度を設ける
- ⑦ 各学科の専門性に対応した教員免許状取得希望者のために関連する科目を提供する

### アドミッションポリシー(入学受入れの方針)

#### ●文学部が求める学生像

- ① 興味をもった事柄や分野についての本を読み、その内容についてまとめることができる人
- ② 日本語、英語、中国語などの言語について、興味と学習意欲をもつ人
- ③ 日本や外国の文学や思想、文化について関心のある人
- ④ 外国語を活用して仕事をしたり、国際交流などの場において活躍したいと考えている人
- ⑤ 日本と外国の相互理解のための知識や能力を身につけたいと考えている人

### カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)

- ① 全学共通科目・全学教養科目の修得を前提とした専門科目を設ける
- ② 国際交流における外国語の重要性に鑑み、全学共通科目において複数の外国語の学修を必須とする
- ③ 世界の多様性を理解する基礎となる科目を学部基幹科目に、初年次教育の中心となるゼミ科目を学科基礎科目に設ける

## 文学部

## 日本文学科

取得学位：学士（文学）

### ディプロマポリシー(卒業認定・学位授与の方針)

- ① 日本語学・日本語教育・文学についての専門的な知識・教養、あるいは書道文化についての専門的な知識・技術を社会の幅広い分野で役立てる力を備えている
- ② 日本以外も含めたさまざまな地域の歴史や文化と、文芸の関わりについて、知識と見識を備えている
- ③ 口頭あるいは文章によって、適切な日本語を用い、的確に自己表現する力、他者の言葉を理解し、お互いを分かり合う力を備えている
- ④ 日本の文化と異文化を相対的に把握でき、国際社会の中で相互理解する力を備えている

### アドミッションポリシー(入学受入れの方針)

#### ●日本文学科が求める学生像

- ① 言葉や文化に深い関心をもつ人
- ② 人間やその営みについて、自ら学び考える意欲のある人
- ③ 言葉や文化に関する知識や見解を社会のために役立たせる意欲のある人
- ④ 文芸創作の意欲があり、創造性の豊かな人

### 通学課程

- 1965年 文学部国文学科設置
- 2001年 日本語日本文学科に名称変更
- 2004年 文学部人文学科設置
- 2010年 文学部日本文学科設置

### 通信教育課程

- 1965年 文学部国文学科開設
- 2001年 日本語日本文学科に名称変更
- 2004年 文学部人文学科開設
- 2010年 文学部日本文学科開設

## ディプロマポリシー(卒業認定・学位授与の方針)

- ①中国語に関する知識と中国の社会や文化に対する理解を有し、相互理解の立場に立ったコミュニケーションができる
- ②中国語圏に関する幅広い知識をベースに、国際交流に関わるさまざまな問題に対処する能力を身につけている
- ③海外研修や留学の経験によって培われた自主性と異文化への理解力を、国際交流の場において役立てることができる
- ④コミュニケーション系を選択した場合は、中・上級程度の中国語運用能力と表現力を身につけている
- ⑤文献読解系を選択した場合は、設定したテーマについて調査した結果をまとめ、これについて自らの解釈や論証が記述できる

## カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)

- ①社会人として必要な教養や知識・技能を修得するための全学共通科目および全学教養科目の履修を前提として専門科目を設定する
- ②専門領域の学修の基盤となる中国語能力(聞く、読む、話す、書く)を修得するためのカリキュラムを提供する
- ③人材養成の目的に応じて、中国語コミュニケーション系と文献読解系からなる二つの学修領域を設定する
- ④主として中国語の実践的運用能力の修得を目指すために、中国コミュニケーション系科目群を提供する
- ⑤主として中国の言語、文学、思想、文化に対する理解力の修得を目指すために、文献読解系科目群を提供する
- ⑥中国語情報処理の能力を修得するための科目を設ける
- ⑦中国の大学等における長期留学制度を設ける
- ⑧学科の専門性に対応した教員免許状取得希望者のために関連する科目を提供する

## アドミッションポリシー(入学者受入れの方針)

## ●中国学科が求める学生像

- ①中国語を修得して、その中国語能力を社会において発揮したい人
- ②現代の中国や古い中国を問わず、中国の文学や思想、文化などに興味をもち、中国と日本との相互理解の基盤となる知識を身につけたい人
- ③中国に留学して現代の中国を実地に体験し、かつ留学生活で自主性や判断力を養いたい人
- ④異文化交流に関心をもち、日本と中国の独自性と共通性について理解したい人

## 通学課程

- 1986年 文学部中国文学科設置
- 2001年 中国語中国文学科に名称変更
- 2004年 中国学科に名称変更

## 通信教育課程

- 1991年 文学部中国文学科開設
- 2001年 中国語中国文学科に名称変更
- 2004年 中国学科に名称変更

## ディプロマポリシー(卒業認定・学位授与の方針)

- ①国際社会において通用する英語の運用能力と、異文化に対する柔軟な理解力を備えている
- ②英語圏の文化についての専門的な知識を有し、異なった文化を理解し受け入れる包容力をもち、それらを活用して、問題を解決しようという前向きな姿勢を身につけている
- ③英語と英語圏文化についての知識と理解力を諸外国とのさまざまな分野での交流に役立てることができる
- ④文化、社会、歴史、政治などの最新の話題について、英語を使って自分の考えを表現することができる
- ⑤文献検索の方法を熟知し、テキストの精緻な読解と分析を行い、そこから得られた独自の考えを英語によって表現できる

## カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)

- ①社会人として必要な教養や技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を提供する
- ②英語とその関連科目および全学共通科目を体系的に履修しながら、問題発見から問題解決へ向かうプロセスを経て、英語検定試験準1級レベルの自己表現力を身につけるべく、段階的で相互関連的に科目を配置したカリキュラムを提供する
- ③「読み・書き・聞き・話す」の4領域にわたる英語コミュニケーション能力を最大化することを目指して、体系的でかつ総合的な語学とその関連科目を提供する
- ④コミュニケーション能力と内外の諸事象(歴史、文化、文学、政治、社会など)についての知識は密接不可分であるという認識のもとに、専門科目、関連科目、全学共通科目によって英語圏の文化を中心に幅広い教養科目を提供する
- ⑤英語力と英語圏文化に関する知識・理解力を応用して、問題発見とその解決能力を養成する研究ゼミ科目を提供する

- ⑥海外の企業との取引や英語圏大学での学修などでも通用する英語力を修得するための科目を提供する
- ⑦英語圏での留学プログラムを提供する
- ⑧英語教育を通して社会に貢献できる教員の養成のために、体系的な英語教育系科目を提供する

## アドミッションポリシー(入学者受入れの方針)

## ●英米学科が求める学生像

- ①コミュニケーション・ツールとしての英語に興味をもち、英語力を伸ばしたいと考える人
- ②英語圏の国々に興味をもち、その国々の言語や文化に関する知識や理解を深めたいと考える人
- ③英語を通じた東西文化の交流に興味をもつ人
- ④英語教育に興味をもち、英語の教員として社会に貢献することを目指す人
- ⑤海外で学ぶことや働くことを目標としている人
- ⑥過去から現在まで、英語によって発信されたさまざまな媒体(文学作品、ニュースなど)を読み、理解することによって、自分の知見を広め、考えを深め、意識を高めようとする人

## 通学課程

- 1975年 文学部英文学科設置
- 2001年 英語英米文学科に名称変更
- 2004年 英米学科に名称変更

## 通信教育課程

- 1981年 文学部英文学科開設
- 2001年 英語英米文学科に名称変更
- 2004年 英米学科に名称変更

# 学部 / 学科

## 歴史学部

### ディプロマポリシー(卒業認定・学位授与の方針)

- ①建学の理念に基づき、豊かな人間性と社会を支える広い教養を身につけている
- ②歴史学の学修を通して、日本あるいは世界の個人・文化・社会に関する基本的な知識や技能を有している
- ③個人・文化・社会などの多様性を理解し、自らの思考や判断に活かすことができる。
- ④学修の成果を用いながら、自らが設定した課題を考察することができる
- ⑤地域社会や国際社会に内在する諸問題に関して、学修の成果を援用し課題を発見し、その解決に向けて実践的に取り組むことができる

### カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)

歴史学部では、学位授与基準を満たす能力の修得を目指して、以下の方針のもとにカリキュラムを編成します

- ①歴史学部のカリキュラムは、大学全体で提供される全学共通科目・全学教養科目を通じて養われる知識や教養を基礎としながら、学部の専門科目を歴史・歴史文化両学科に共通する内容を学ぶ学部基幹科目、各学科の基礎的な内容を学ぶ学科基礎科目、学科の専門的な内容を学ぶ学科専門科目(各領域の学科専攻科目、関連科目)で構成する
- ②歴史学部における初年次の学修は、学部全体として大学での学びへの円滑な導入および基礎的なアカデミックスキルの修得を目指す「入門ゼミ」と、全学共通科目の「専門学修のための日本語表現」の二つの科目を中心に、両学科に共通する内容を学ぶ学部基幹科目と、各学科の基礎的な内容を学ぶ学科基礎科目で構成する

- ③研究法ゼミ(2学年)、発展研究ゼミ(3学年)、卒業研究ゼミ(4学年)と継続的にゼミを設置することによって選択領域の学修の深化をはかるとともに、学生自身による思考・判断、および表現する力の養成を目指す
- ④専門教育の学修内容を補完し、より幅の広い学修をうながすため、多彩な関連科目を設定する。両学科の関連科目は過去の事象をさまざまな角度から考察する歴史学という学問の特性を考慮して互いに履修可能となるよう設定し、横断的な学修を担保する
- ⑤関連科目は、京都の歴史や文化を集中的に学ぶ「京都学プログラム」、中学校社会・高等学校地歴・公民の教育職員免許状取得を目指す「教職免許状取得プログラム」、博物館学芸員資格取得を目指す「学芸員資格プログラム」、図書館司書・学校図書館司書教諭資格取得を目指す「図書館司書プログラム」など体系的で効果的な学修を目的としたプログラム科目群を設定する

### アドミッションポリシー(入学者受入れの方針)

●歴史学部が求める学生像

- ①世界史・日本史・地理など地歴科目のいずれかについてより広範な知識を有している人
- ②自分の考えを言葉や文章で表現できる人
- ③歴史や文化について関心のある人
- ④大学での学修を活かして、社会に積極的に関わろうとする人

## 歴史学部

## 歴史学科

取得学位：学士(文学)

### ディプロマポリシー(卒業認定・学位授与の方針)

- ①日本あるいは世界の歴史について基本的な知識と技能を有し、その重要性を理解している
- ②学修を通して日本あるいは世界の歴史の時間的・空間的多様性を理解している
- ③日本あるいは世界の歴史についての学修と現場での学修や体験の成果を統合し、その結果を言葉や文章によって論理的に提示することができる
- ④学修成果を用いて、現代の地域社会や国際社会に内在する諸問題について考えることができる

### カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)

歴史学科では、歴史の地域的な特性に応じた日本史・東洋史・西洋史の三つの領域を設定し、学位授与基準を満たす能力の修得を目指して、以下の方針のもとにカリキュラムを編成します

- ①社会人として必要な教養や技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を提供する
- ②初年次には、各領域に通底する「日本史概論」・「日本史特論」・「東洋史概論」・「東洋史特論」および「西洋史概論」・「西洋史特論」を必修科目とする。これにより、学科に包摂される文献史学に基づく歴史学研究に関わる学問諸領域の基礎的な知識の修得を目指す
- ③2学年以降に開始する専門的な学修は、文献史料を読解・分析する力を段階的に養うことを目的とする講読や演習科目、専門的なテーマに関する知識や研究方法などを学ぶ特講を中心に進める
- ④2学年以降の専門的な学修において、学科が設置する三領域のうち一領域を主専攻として4学年まで継続して専攻科目を学修し、専門的な知識や技能の修得・深化をはかる。また、副専攻として異なる領域の専攻科目を学修することにより、多角的な視点からの学修を進めるとともに、異なる領域に関する知識・技能についても修得を目指す
- ⑤2学年以降の専門的な学修においては関連科目を設定し、学生が自らの興味や関心に従い選択履修することにより幅広い教養と高度な能力の修得を目指す。関連科目は史料分析方法や文献の読解を目指す諸科目のほか、実践的な力

- を養うフィールドワーク科目、さまざまな文化に触れる研修などで構成する
- ⑥2学年以降の専門的な学修で、研究法ゼミ(2学年)、発展研究ゼミ(3学年)、卒業研究ゼミ(4学年)と継続してゼミに所属することによって学修の深化をはかるとともに、学生自身による思考・判断、および表現する力の養成をはかる
  - ⑦学修成果の総括として4学年において一つの課題に取り組んだ「卒業論文」の執筆を課す。卒業論文については複数の教員が審査(口頭試問)を行う

### アドミッションポリシー(入学者受入れの方針)

●歴史学科が求める学生像

- ①世界史や日本史いずれかについて、高等学校で学ぶ内容が十分に理解できている人
- ②日本史・東洋史・西洋史のいずれかの歴史について、強い関心を有している人
- ③自分の考えを言葉や文章で表現できる人
- ④歴史の学修を通じて高度な思考力や判断力・表現力を身につけたい人
- ⑤学修成果を活かして、社会に積極的に関わろうとする人

#### 通学課程

- 1966年 文学部史学科設置
- 2004年 文学部人文科学科設置
- 2010年 歴史学部歴史学科設置

#### 通信教育課程

- 1966年 文学部史学科開設
- 2004年 文学部人文科学科開設
- 2010年 歴史学部歴史学科開設

**ディプロマポリシー(卒業認定・学位授与の方針)**

- ①日本あるいは世界の歴史的な文化事象について基本的な知識と技能を有し、その重要性が理解できている
- ②自らが専攻する分野・領域を中心に、歴史的な文化事象の時間的・空間的多様性について理解できている
- ③日本あるいは世界の歴史的な文化事象に関する学修と現場での学修・活動の成果を統合し、その結果を言葉や文章によって論理的に提示できる
- ④学修成果を用いて、現代の地域社会や国際社会に内在する諸問題について考えることができる

**カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)**

歴史文化学科では、歴史的な文化事象の特性に応じた地域文化・民俗文化・芸術文化の三つの文化領域を設定し、学位授与基準を満たす能力の修得を目指して、以下の方針のもとにカリキュラムを編成します

- ①社会人として必要な教養や技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を提供する
- ②初年次には、各領域に通底する「歴史文化概論」および「地域文化」・「民俗文化」・「芸術文化」の概論を必修科目とする。これにより、学科に包摂される歴史文化の研究に関わる学問諸領域の基礎的な知識の修得を目指す
- ③2学年以降に開始する専門的な学修は、資料読解・分析の力を段階的に養うことを目的とする演習科目や講読、専門的なテーマに関する知識や研究方法などを学ぶ特講、現場での学びを重視したフィールドワーク科目を中心に進める
- ④2学年以降の専門的な学修において、学科が設置する三領域のうち一領域を主専攻として4学年まで継続して専攻科目を学修することで専門的な知識や技能の修得・深化をはかる。また、副専攻として異なる領域の専攻科目を学修することにより、多角的な視点からの学修を進めるとともに、異なる領域に関する知識・技能についても修得を目指す

- ⑤2学年以降の専門的な学修においては関連科目を設定し、学生が自らの興味や関心に従い選択履修することにより幅広い教養と高度な能力の修得を目指す。関連科目は歴史学部における各領域の理解の深まりを学問分野に即して学ぶ科目のほか、フィールドワークの実践的な力を養う科目や研修などで構成する
- ⑥2学年以降の専門的な学修で、研究法ゼミ(2学年)、発展研究ゼミ(3学年)、卒業研究ゼミ(4学年)と継続してゼミを設置することによって学修の深化をはかるとともに、学生自身による思考・判断、および表現する力の養成を図る
- ⑦学修成果の総括として4学年において一つの課題に取り組んだ「卒業論文」の執筆を課す。卒業論文については複数の教員が審査(口頭質問)を行う

**アドミッションポリシー(入学者受入れの方針)**

## ●歴史文化学科が求める学生像

- ①世界史・日本史・地理など地歴科目のいずれかについて、より広範な知識を有している人
- ②歴史的な文化事象について強い関心を有している人
- ③自分の考えを言葉や文章で表現できる人
- ④歴史的な文化事象に関する学修を通じて高度な思考力や判断力・表現力を身につけたい人
- ⑤学修成果を活かして、社会に積極的に関わろうとする人

**通学課程**

- 1966年 文学部史学科設置
- 2004年 文学部人文学科設置
- 2010年 歴史学部歴史文化学科設置

**通信教育課程**

- 1966年 文学部史学科開設
- 2004年 文学部人文学科開設
- 2010年 歴史学部歴史文化学科開設

**教育学部****ディプロマポリシー(卒業認定・学位授与の方針)**

- ①学校や病院等、教育支援、臨床心理学的援助が要請される領域の諸問題に積極的に取り組み、問題解決する実行力を身につけている
- ②教育学あるいは臨床心理学に関わる研究の基礎的方法論を修得するとともに、大学院進学希望にも対応できる十分な資質・能力を身につけている
- ③教育学や臨床心理学に関わる基礎的な知識・技能および応用力を有し、さらに、それらの領域で情報通信技術を活用できる技能を身につけている
- ④人間を理解する心を涵養し、社会的な常識を有し、社会の幅広い年齢層の人たちと協働できる人間関係能力を身につけている

**カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)**

- ①社会人として必要な教養や知識・技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を設ける
- ②初年次より大学での学びや、人間関係能力を高めるための科目を配置し、大学生としての心身の発達を全面的にサポートする
- ③学生の将来設計に応じて、時代に即した免許・諸資格の取得が効果的・能率的にできるよう、学部の基幹科目、学科別の基礎科目から専攻科目、そして資格の幅を広げる関連科目でカリキュラムを編成する
- ④教育・臨床心理の領域で高度な技能を有する人材育成を目的として、基礎的・専門的内容を理論と実践の双方から体系的に学ぶことができるようカリキュラムを編成する

- ⑤教育・保育現場や病院等と連携した実習科目を設置し、実践的な問題解決能力の育成を図る
- ⑥主体的な学習を通じて、論理的思考力、言語活用能力、問題発見解決能力などグローバル社会で必要とされる能力を育成する科目を設ける
- ⑦研究を遂行する基礎的能力育成のため、研究方法を学び実践する科目を設ける
- ⑧情報通信技術を活用した科目を設置し、知識基盤社会および教育・保育現場や病院等での協働業務において必須となる情報活用能力の育成を行う

**アドミッションポリシー(入学者受入れの方針)**

## ●教育学部が求める学生像

- ①人間の「心」や「学び」について深く学び、研究しようとする気持ちを有する人
- ②大学で学ぶために十分な資質・能力を有し、ものごとを論理的に考えたり、直感的に捉えたり、それらを活用する力をもっている人
- ③自身の目標を設定し、それに向けて弛まぬ向上心をもっている人
- ④他者と積極的に関わり、協力して物事を遂行する力をもっている人
- ⑤他者を支え、他者の成長を自身の喜びと捉えることのできる人

# 学部 / 学科

## 教育学部 教育学科 取得学位：学士（教育学）

### ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

- ①子どもの内面を深く理解し、その成長に寄り添い、自立させていくことのできる能力を身につけている
- ②教育学に関わる理論的知識と学習指導に関わる実践的知識を有し、教育現場での問題の解決に取り組むことができる
- ③教育職の重要性を自覚し、学校教員として自律でき、範を垂れる人間性を有している
- ④社会的な常識や幅広い年齢層の人たちとのコミュニケーション能力を有し、諸問題に忍耐強く取り組むことができる
- ⑤教育現場をはじめチーム学校の一員として、他者と協働しながら業務を円滑に遂行することのできる能力を身につけている
- ⑥教育学研究の基礎的方法論を会得し、学んだ知識を集大成して卒業論文にまとめる能力、また大学院進学希望者においては、より質の高い研究を遂行するための能力を身につけている

### カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

- ①社会人として必要な教養や技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を提供する
- ②教育学の理論的知識と実践的知識に関わる科目を系統的に配置し、免許状取得に必要な科目を体系的に履修することができるよう、カリキュラムを編成する
- ③初等教育、中等教育、特別支援教育といった領域を設定し、教育現場での実践的な教員養成カリキュラムを編成する
- ④教育現場が必要とする、教科指導力、生活指導力、コミュニケーション力を育成するための科目を設ける
- ⑤主体的な学習により、論理的思考力、言語活用能力、問題発見解決能力、情報活用能力、外国語指導能力などグローバル社会で必要とされる能力を育成する科目を設ける

- ⑥情報基盤社会で必須となる情報通信技術の技能の修得、および教育への活用法についての科目を設ける
- ⑦教育学分野の論文作成能力育成のため、研究方法を学ぶ科目を設ける
- ⑧理論的な学修を実践的に検証するため、教育現場教員、学生、大学教員の三者が協力して教育改善に取り組む科目を設ける

### アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

#### ●教育学部が求める学生像

- ①教育に強い関心を持ち、教育の諸問題を解決していこうとする強い意志を有する人
- ②教育現場をはじめ、チーム学校の一員として活躍したいと考えている人
- ③組織内で貢献する気持ちを有し、他者と協力して物事を解決することができる人
- ④自身の目標を設定し、それに向けて弛まぬ向上心をもっている人

#### 通学課程

- 1968年 文学部教育学科設置
- 1989年 教育学部教育学科設置  
教育学部社会教育学科設置
- 1999年 社会教育学科を生涯学習学科に名称変更
- 2004年 生涯学習学科の学生募集を停止し、教育学科の収容定員増

#### 通信教育課程

- 1968年 文学部教育学科開設
- 1996年 教育学部教育学科開設

## 教育学部 幼児教育学科 取得学位：学士（教育学）

### ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

- ①子どもの内面を深く理解し、その成長に寄り添い、自立させていくことのできる能力を身につけている
- ②幼児教育学・保育学に関わる理論的知識と保育に関わる実践的知識を有し、幼児教育・保育現場での問題の解決に取り組むことができる
- ③保育職の重要性を自覚し、保育者として自律でき、範を垂れる人間性を有している
- ④社会的な常識や幅広い年齢層の人たちとのコミュニケーション能力を有し、諸問題に忍耐強く取り組むことができる
- ⑤幼児教育・保育現場をはじめ幼稚園・保育園・認定こども園の一員として、他者と協働しながら業務を円滑に遂行することのできる能力を身につけている
- ⑥幼児教育学・保育学研究の基礎的方法論を会得し、学んだ知識を集大成して卒業論文にまとめる能力、また大学院進学希望者においては、より質の高い研究を遂行するための能力を身につけている

### カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

- ①社会人として必要な教養や技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を提供する
- ②幼児教育学・保育学の理論的知識と実践的知識に関わる科目を系統的に配置し、免許状・資格取得に必要な科目を体系的に履修することができるよう、カリキュラムを編成する
- ③幼児教育・保育現場での実践的な保育者養成カリキュラムを編成する
- ④幼児教育・保育現場が必要とする、保育力、保育技術、コミュニケーション力を育成するための科目を設ける

- ⑤主体的な学習により、論理的思考力、言語活用能力、問題発見解決能力、情報活用能力、外国語指導能力などグローバル社会で必要とされる能力を育成する科目を設ける
- ⑥情報基盤社会で必須となる情報通信技術の技能の修得、および教育への活用法についての科目を設ける
- ⑦幼児教育学・保育学分野の論文作成能力育成のため、研究方法を学ぶ科目を設ける
- ⑧理論的な学修を実践的に検証するため、幼児教育・保育現場の保育者、学生、大学教員の三者が協力して教育改善に取り組む科目を設ける

### アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

#### ●幼児教育学科が求める学生像

- ①幼児教育・保育に強い関心を持ち、幼児教育・保育の諸問題を解決していこうとする強い意志を有する人
- ②幼児教育・保育現場をはじめ、幼稚園・保育園・認定こども園の一員として活躍したいと考えている人
- ③組織内で貢献する気持ちを有し、他者と協力して物事を解決することができる人
- ④自身の目標を設定し、それに向けて弛まぬ向上心をもっている人

#### 通学課程

- 2022年 教育学部幼児教育学科設置

#### 通信教育課程

- 2022年 教育学部幼児教育学科開設

**ディプロマポリシー(卒業認定・学位授与の方針)**

- ①人間の成長可能性を信じ、豊かな人間性、確固たる倫理観、心の一般原理としての基礎心理学の知識、個々の人間に寄り添う臨床心理学の知識・技能を身につけている
- ②基礎心理学・臨床心理学の知識・技能に基づき、教育・医療・福祉・司法矯正・行政・企業など、それぞれの分野での心に関わる諸問題の解決・支援に貢献できる力を有している
- ③社会人として必要な教養や知識・技能を身につけている
- ④基礎心理学・臨床心理学の知識・技能に基づき、謙虚に自己をみつめ自己を理解する力、周囲の環境や他者を理解する力、根拠に基づいた情報を発信する力を有している
- ⑤基礎心理学・臨床心理学の知識・技能を修得し、自ら問題を発見し、他者と協働してその解決に積極的に取り組み、解決策を提示できる力を有している

**カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)**

- ①人間の成長可能性を信じ、豊かな人間性、確固たる倫理観、心の一般原理としての基礎心理学の知識、個々の人間に寄り添う臨床心理学の知識・技能を身につけるための科目を提供する
- ②基礎心理学・臨床心理学の知識・技能に基づき、教育・医療・福祉・司法矯正・行政・企業など、それぞれの分野での心に関わる諸問題の解決・支援に貢献できる力を涵養するための科目を提供する

- ③社会人として必要な教養や知識・技能を身につけるための全学共通科目群と全学教養科目群を提供する
- ④基礎心理学・臨床心理学の知識・技能に基づき、謙虚に自己をみつめ自己を理解する力、周囲の環境や他者を理解する力、根拠に基づいた情報を発信する力を涵養する科目を提供する
- ⑤基礎心理学・臨床心理学の知識・技能を修得し、自ら問題を発見し、他者と協働してその解決に積極的に取り組み、解決策を提示できる力を涵養するための科目を提供する

**アドミッションポリシー(入学者受入れの方針)**

- 臨床心理学科が求める学生像
- ①社会において必要な教養と、基礎心理学・臨床心理学の知識・技能を活用して、社会で通用する実践力を身につけたいと望む人
- ②教育・医療・福祉・司法矯正・行政・企業など自分が関心を有する分野で、基礎心理学・臨床心理学の知識・技能を活用して、社会に貢献するための判断力・行動力・技術を身につけ、地域において貢献したいと考える人
- ③人間の心や社会に深い関心をもち、継続的に探究することができる人

**通学課程**

2000年 教育学部臨床心理学科設置

**社会学部****ディプロマポリシー(卒業認定・学位授与の方針)**

- ①社会学または公共政策学に関する幅広い知見を有し、共生社会に貢献することができる
- ②自己を見つめる力、自分の考えを伝え他者の考えを理解する力、他者を尊重しともに行動する力をもっている
- ③社会の一員として求められる総合的な教養を身につけている
- ④現代社会の諸課題に積極的に取り組むために必要な専門性を備えている

**カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)**

- ①社会人として必要な教養や知識・技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を設ける
- ②社会学または公共政策学に関する幅広い知見を有し、共生社会の形成に資する力を培うための科目を提供する
- ③自己を見つめる力、自分の考えを伝え他者の考えを理解する力、他者を尊重しともに行動する力を培うための科目を提供する
- ④専門教育の基礎となる総合的な教養を身につけるための科目を提供する
- ⑤現代社会の諸課題に積極的に取り組むために必要な専門性を備えるための科目を提供する
- ⑥体験や実践を通じて応用力を培い、総合的に表現する力を身につけるための科目を提供する

**アドミッションポリシー(入学者受入れの方針)**

- 社会学部が求める学生像
- ①学習や体験を通じて社会に対する問題意識を培ってきた人
- ②他者の考えを理解し、他者を尊重しともに行動しようという意欲のある人

# 学部 / 学科

## 社会学部

## 現代社会学科

取得学位：学士（社会学）

### ディプロマポリシー(卒業認定・学位授与の方針)

- ①社会学の基礎的知識を修得したうえで、変化する現代社会におけるさまざまな社会現象や社会問題に対して、自己を見失わず常識にとらわれない柔軟な見方ができる
- ②グローバル化、多文化化する世界の中で、異なる文化や宗教に対して開かれた態度をとり、地域の課題に対して的確な判断が下せる
- ③差別やマイノリティの問題、さまざまな社会問題について幅広い知見を有し、共生社会の実現に寄与する力を備えている
- ④現代社会において必要とされる情報リテラシーを身につけ、情報の賢明な受け手としてだけでなく、送り手としてのコミュニケーション能力も有している

### カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)

- ①社会人として必要な教養や技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を提供する
- ②人材養成の目的に応じて、文化・国際コース、共生・臨床社会コース、情報・メディアコースを設定する
- ③社会学の基礎知識を修得させる科目を提供する
- ④さまざまな社会現象や社会問題に対する常識にとらわれない柔軟な見方を養うため、学生自身が手を動かし、足を運び、討議する、各種の実習科目・演習科目を提供する
- ⑤グローバル化する世界と国内外の多様な文化について理解を深め、現代社会における人間の存在や個人のあり方について根本的に考えさせる科目を提供する
- ⑥共生の理念のもと、より良い社会を構想するため、マイノリティやジェンダーの問題、家族、学校、職場、地域などで発生する諸問題について理解を深めるための科目を提供する
- ⑦情報社会における多様なコミュニケーションを社会的に考えるとともに、メディアの活用方法の修得を通して、情報収集能力、情報発信能力を高める科目を提供する
- ⑧希望する学生に学科の専門領域に応じた教員免許や諸資格が取得できるカリキュラムを提供する

### アドミッションポリシー(入学者受入れの方針)

●現代社会学科が求める学生像

- ①学習や体験を通じて社会に対する問題意識を培い、世界や地域の社会現象に関心をもっている人
- ②他者の考えを理解し、他者を尊重しともに行動しようという意欲のある人

#### 通学課程

- 1967年 社会学部社会学科設置  
1989年 社会学部応用社会学科設置  
2004年 社会学部現代社会学科設置  
(社会学科、応用社会学科を改組改編)

#### 通信教育課程

- 1967年 社会学部社会学科開設  
1995年 社会学部応用社会学科開設  
2004年 社会学部現代社会学科開設  
(社会学科、応用社会学科を改組改編)

## 社会学部

## 公共政策学科

取得学位：学士（社会学）

### ディプロマポリシー(卒業認定・学位授与の方針)

- ①社会、特に地域社会の課題に取り組むために必要な、政治学、経済学および関連する諸科学に関する基本的な学力を備えている
- ②地域社会の担い手としての自覚をもち、地域の課題に積極的に取り組む意志と実行力を備えている
- ③自己を見つめる力、自分の考えを伝え他者の考えを理解する力、他者を尊重しともに行動する力を有している

### カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)

- ①社会人として必要な教養や技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を提供する
- ②人材養成の目的に応じて、地域政治コースと地域経済コースを設定する
- ③公共政策に関する基礎知識を修得させる科目を提供する
- ④地域社会の課題発見や政策形成に関する専門的な学修に資するために、政治学、経済学および関連する諸科学に関わる科目を提供する
- ⑤コミュニティ・キャンパスをはじめとするさまざまな地域社会と連携して取り組む課題解決型科目を提供する
- ⑥主体的、能動的な学習機会を確保するために、すべての学年に少人数、双方向の演習科目を提供する
- ⑦希望する学生に学科の専門領域に関連する資格に対応したカリキュラムを提供する

### アドミッションポリシー(入学者受入れの方針)

●公共政策学科が求める学生像

- ①学習や体験を通じて社会に対する問題意識を培い、地域社会の課題に取り組む意欲をもっている人
- ②他者の考えを理解し、他者を尊重しともに行動しようという意欲のある人

#### 通学課程

- 1967年 社会学部社会学科設置  
1989年 社会学部応用社会学科設置  
2004年 社会学部公共政策学科設置  
(社会学科、応用社会学科を改組改編)

#### 通信教育課程

- 1967年 社会学部社会学科開設  
1995年 社会学部応用社会学科開設  
2004年 社会学部公共政策学科開設  
(社会学科、応用社会学科を改組改編)



# 社会福祉学部

## ディプロマポリシー(卒業認定・学位授与の方針)

- ① 建学の理念に基づき、自己覚知、他者理解のための教養と専門知識、多様な人々とともに生きる知識と作法を身につけている
- ② 人間の共同についての歴史的な理解と現代社会における福祉の意義と課題をとりえ、社会のさまざまな領域で活かすことができる実践力を身につけている
- ③ 社会問題への認識を深め、他者を共感的に理解できる姿勢をもち、個人の尊重や社会正義を理解し、社会生活のさまざまな分野で活かすことができる
- ④ 市民として、差別や抑圧のない平和で安全な社会に関する知識と教養を身につけている

## カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)

- ① 全学共通科目・全学教養科目の学修と関連させ、社会福祉学の専門学修のうえで基本認識となる社会のとらえかた、人間理解と実践のありかた、人権に関する基幹科目をおく
- ② 社会福祉学の基礎理論を重視し、福祉問題の現実とその政策的解決や実践的解決を結びつけて学修できるよう、また医療・教育・まちづくりなど関連領域との広がりの中で学修できるよう、分野論、実践論、制度論にわたる体系的な教育課程を提供する
- ③ 演習系科目における少人数教育を実施し、教員の指導・援助のもとに、学生1人ひとりが主体的かつ共同して探求する力をはぐくむ教育課程を提供する
- ④ 現場との共同により、専門的知識体系を実践的にも学修することができる教育課程を提供する
- ⑤ 将来の進路、キャリア形成に応じ免許・資格の取得に結びつく科目を含んだ課程を編成する

## アドミッションポリシー(入学者受入れの方針)

- 社会福祉学部が求める学生像
- ① 自らの可能性を広げ、目標に向かって努力することができる人
- ② 社会福祉と人間の生涯の発達について関心をもち、現在の社会・生活・教育に関する問題の解決に向けた具体的な方策に関心をもっている人
- ③ 多様な他者との関わりから学び、また自ら主体的に学ぶことを通して、社会に貢献しようとする姿勢をもっている人
- ④ 社会福祉学を学ぶ基礎となる読解力、歴史や現代社会についての基本的な知識や関心をもつ人

## 社会福祉学部

## 社会福祉学科

取得学位：学士（社会福祉学）

## ディプロマポリシー(卒業認定・学位授与の方針)

- ① 基本的な人権や社会正義、発達の考え方に基づく福祉の価値を理解し、多様な状況におかれている当事者を共感的に理解し、実践に真摯に向き合うことができる
- ② 豊かなコミュニケーション、他者や異なる集団を理解し共感できる力およびニーズを把握する力を基礎に、社会問題・生活問題を解決・軽減する専門的技術を用いられるようになる
- ③ 社会のさまざまな領域において、当事者が主体性を発揮できるよう援助し、人間らしい生活を実現するための実践ができる
- ④ 主体的に多様な人々や組織と協働して、全ての人が安心してともに生活ができ、平和でよりよい社会を創り出す知恵と実践力を身につけている
- ⑤ 社会福祉・保育の基本的な役割や構成を理解し、人間の行動や社会構造に関わる知見に即して福祉あるいは保育の制度と実践を体系的に理解できている

## カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)

- ① 専門知識を得て主体的で探求心あふれる学習ができるよう、社会福祉に関わる思想・歴史、原理を重視し、対象理解と実践、制度理解と運営、地域を基盤にした展開や国際的な視点について順次性をもって学修できるように、相互連関的に科目を配置し、教育課程を編成する
- ② 専門職養成の目的に応じて、社会福祉士・精神保健福祉士・保育士養成に関する講義・演習系科目、学科専門を基礎にした教科の免許に関する講義科目を含んだ学士課程を提供する
- ③ 演習・ゼミおよび専門資格に関わる実習系科目において、必要な知識、態度、技能を確実に習得できるよう少人数教育を重視する
- ④ 対人援助に関する基本的な方法や法制度について学び、乳幼児期から青年期、高齢期までの生活課題に関する援助のあり方や福祉職・保育職の資質・専門性、多様な専門職間での連携を身につけ、ソーシャル・アクションを含めた専門職の社会活動の意義をとらえる科目を配置する
- ⑤ 以上の学部学科専門科目の順次性のある学修と全学共通科目・全学教養科目を関連づけ、専門学修を深めながら、その基盤となる教養を学修できるカリキュラムを編成する

## アドミッションポリシー(入学者受入れの方針)

- 社会福祉学科が求める学生像
- ① 自分の新たな可能性を発見しようとしている人
- ② 社会福祉と人間の生涯の発達について関心をもち、乳幼児期から青年期、高齢期まですべての人々の生活問題や発達支援とその解決に向けた具体的な方策に関心をもつ人
- ③ 多様な他者との関わりの中で学ぼうとし、また自ら主体的に学ぶ姿勢を有している人
- ④ 社会福祉学を学ぶ基礎となる読解力、歴史や現代社会についての基本となる知識や関心をもつ人

### 通学課程

1962年	仏教学部仏教福祉学科設置
1965年	文学部社会福祉学科設置
1967年	社会学部社会福祉学科設置
2000年	社会学部健康福祉学科設置
2004年	社会福祉学部社会福祉学科設置 (社会福祉学科、健康福祉学科を改組改編)

### 通信教育課程

1963年	仏教学部仏教福祉学科開設
1965年	文学部社会福祉学科開設
1967年	社会学部社会福祉学科開設
2004年	社会福祉学部社会福祉学科開設

# 学部 / 学科

## 保健医療技術学部

### ディプロマポリシー(卒業認定・学位授与の方針)

- ① 建学の理念に基づいて、共生と平等、人間尊重、平和への希求を体現し、人類の進歩に貢献する力を有している
- ② 医療人として常に人の側にたつて、人とともに人生の苦しみとたたかう強い意志や意欲を有している
- ③ 医学・医療・保健の世界で活躍するために必要な学力を有し、常に実践の質を高める努力を続ける力を有している
- ④ 医療・保健の現場で必要とされる読み書き能力や良好なコミュニケーション能力を有している
- ⑤ 研究の面白さや研究的思考方法の基礎を修得することによって、将来、臨床とともに研究も行いうる資質をもっている
- ⑥ 互いの専門性の理解のうえにたつた対等な立場でのチーム医療や連携実践のあり方を追求する能力を有している
- ⑦ 今後のさらなる医学・医療・保健の高度化・国際化・情報化に対応して活躍する力をもっている

### カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)

本学部は、全学共通科目と全学教養科目に加え理学療法士、作業療法士、看護師の各養成課程の指定規則に定められている科目を基礎的科目から応用的科目まで順序立てて配置する

- ① 医療従事者としての共感性、豊かな人間力を涵養するための科目を配置する
- ② 基礎的学力を充実させるための科目を配置する
- ③ 高度医療に対応しうる専門科目を配置する
- ④ 実践場面に对应しうる能力を修得するための科目を配置する
- ⑤ 研究的思考を養うための科目を配置する
- ⑥ 英語を含めた語学科目を配置する

### アドミッションポリシー(入学者受入れの方針)

- 保健医療技術学部が求める学生像
- ① 医学・医療・保健の知識や技術をもって、人々の役に立ちたいと思う熱意や意志を有している人
- ② 基本的な学習習慣を有し、膨大な医学・医療・保健の知識の修得に地道な努力を続けられる人
- ③ 高等学校等での学習を通じて自然科学としての医学を理解するための基礎的学力を有している人
- ④ 医療・保健分野において必須となる読み書き能力を身につける意欲を有している人
- ⑤ 対人サービスにおいて必要とされる良好なコミュニケーション能力を身につける意欲を有している人

## 保健医療技術学部

## 理学療法学科

取得学位：学士（保健学）

### ディプロマポリシー(卒業認定・学位授与の方針)

- ① 理学療法に関する最新の知識と技術を理解する能力を有している
- ② 理学療法に関する体験や実践を通して得た情報を整理し応用する能力を有している
- ③ 理学療法に関する専門的知識と技術を習熟する能力を有している
- ④ 理学療法士として必要な治療技術および企画力、円滑な対人交流を行う能力を有している

### カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)

- ① 社会人として必要な教養や技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を提供する
- ② 医療人としての共感性、豊かな人間力を涵養するための科目を配置する
- ③ 基礎的学力を充実させるための科目を配置する
- ④ 英語を含めた語学科目を配置する
- ⑤ 理学療法士の国家試験に合格しうる専門的知識を修得するため、脳血管疾患領域、運動器疾患領域、呼吸・循環器疾患領域、変性疾患領域に関する科目を配置する
- ⑥ 理学療法に関連する各種評価・治療に関する科目および福祉機器、住環境整備、就労支援等に関する科目を提供する
- ⑦ 理学療法の実践場面に对应しうる能力を修得するため、心身機能、日常生活、社会適応、治療技術に関する演習および学外医療施設等における総合臨床実習を提供する
- ⑧ 理学療法士としての自覚を促し、向上させるための科目を配置する

### アドミッションポリシー(入学者受入れの方針)

- 理学療法学科が求める学生像
- ① 理学療法士を目指す高い目的意識をもち、真摯な取り組みのできる人
- ② 高等学校等での学習を通じて専門課程に取り組める基礎学力を有している人
- ③ 障がいのある人が充実した生活をすすめるための具体的な方法について一緒に工夫していきたいと思う人
- ④ 理学療法士として社会や地域に貢献したいという意欲をもつ人

#### 通学課程

2006年 保健医療技術学部理学療法学科設置

**ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）**

- ①作業療法に関する最新の知識と技術を理解する能力を有している
- ②作業療法に関する体験や実践を通して得た情報を整理し応用する能力を有している
- ③作業療法に関する専門的知識と技術を習熟する能力を有している
- ④作業療法士として必要な企画力・表現力および円滑な対人交流を行う能力を有している

**カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）**

- ①社会人として必要な教養や技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を提供する
- ②医療従事者としての共感性、豊かな人間力を涵養するための科目を配置する
- ③基礎的学力を充実させるための科目を配置する
- ④医学・医療の共通言語である英語を含めた語学科目を配置する
- ⑤作業療法士の国家試験に合格しうる専門的知識を修得するため、身体障害領域、精神障害領域、発達障害領域、老年期障害領域等に関する科目を配置する
- ⑥作業療法に関連する各種評価に関する科目および福祉機器・用具、住環境整備、就労支援等に関する科目を提供する
- ⑦作業療法の実践場面に対応しうる能力を修得するため、日常生活や社会適応、余暇関連等の活動に関する演習および学外医療施設等における総合臨床実習を提供する
- ⑧作業療法士としての自覚を促し、向上させるための科目を配置し、各学年において個人面接を実施する

**アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）**

- 作業療法学科が求める学生像
- ①作業療法士を目指す高い目的意識をもち、真摯な取り組みのできる人
- ②高等学校等での学習を通じて専門課程に取り組める基礎学力を有している人
- ③障がいのある人が楽しみながら生活するための具体的な方法について一緒に工夫したいと思う人
- ④作業療法士として社会や地域に貢献したいという意欲をもつ人

**通学課程**

2006年 保健医療技術学部作業療法学科設置

**ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）**

- ①看護活動の場において共感性や豊かな人間性を発揮できる能力を有している
- ②看護学および隣接領域に関する学識を看護活動の場において発揮できる能力を有している
- ③基礎的な看護実践能力（知識・技術・態度）を備え、それを発揮できる能力を有している
- ④看護活動を通して地域社会への貢献ができる能力を有している
- ⑤看護学および隣接領域の諸分野と連携して活動できる能力を有している
- ⑥医療の高度化、情報化、国際化に対応できる能力を有している

**カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）**

- ①社会人として必要な教養や技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を提供する
- ②看護職として求められる基本的な資質や能力を獲得し、人間性を涵養するための科目を配置する
- ③社会環境の中で存在する人間を包括的に理解することを基盤として、健康に関与する看護学の基本を学ぶための科目を配置する
- ④多様な看護の場において、対象の健康段階や発達段階の特性とニーズに応じた看護を展開し実践する能力、対象を中心とした連携実践のあり方を身につける科目を配置する
- ⑤看護の知識と技術を統合し、多様な場、多様な人に対応できる実践能力を身につけるための臨床実習科目を配置する
- ⑥より良い看護を探求し、専門性の発展に貢献する看護学研究活動の基盤をつくるための科目を配置する

**アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）**

- 看護学科が求める学生像
- ①看護の知識と技術をもって、看護の対象となる人の役に立ちたいと思う熱意や意志があり、社会貢献に意欲を有している人
- ②高等学校までの学習を通して看護学を学ぶために必要な基礎学力を有している人
- ③人に対する深い関心をもち、多様な人と良好なコミュニケーションを形成する意欲を有している人

**通学課程**

2012年 保健医療技術学部看護学科設置

## 文学研究科

### 仏教学専攻

取得学位：修士（文学）・博士（文学）

#### 修士課程

##### ◆人材養成の目的

- ①浄土学、仏教学、仏教文化を中心とした宗教文化・思想のいずれかに関する高度な専門知識と研究能力を持つ浄土宗教師を養成する。
- ②浄土学、仏教学、仏教文化を中心とした宗教文化・思想のいずれかに関する高度な専門知識と研究能力を持つ人材を養成する。
- ③浄土学、仏教学、仏教文化を中心とした宗教文化・思想のいずれかに関する高度な専門知識と研究能力を持ち、それを活かした専門職に就きうる人材を養成する。

#### 博士後期課程

##### ◆人材養成の目的

- ①浄土学、仏教学、仏教文化を中心とした宗教文化・思想のいずれかに関して、高度な専門知識を持ち、創造性豊かな優れた研究能力を持つ研究者を養成する。
- ②浄土学、仏教学、仏教文化を中心とした宗教文化・思想のいずれかに関して、確かな教育能力と研究能力を兼ね備えた教育者（大学教員等）を養成する。

#### 通学課程

- 1967年** 修士課程設置  
(浄土学専攻、仏教学専攻、仏教文化専攻は1991年)
- 1969年** 博士後期課程設置  
(仏教学専攻、浄土学専攻、仏教文化専攻は1998年)
- 2015年** 修士課程、博士後期課程の各3専攻(浄土学専攻、仏教学専攻、仏教文化専攻)をそれぞれ仏教学専攻として設置

#### 通信教育課程

- 1999年** 修士課程(浄土学専攻、仏教学専攻、仏教文化専攻)開設
- 2003年** 博士後期課程(仏教学専攻)開設
- 2015年** 修士課程(浄土学専攻、仏教学専攻、仏教文化専攻)、博士後期課程(仏教学専攻)をそれぞれ仏教学専攻として開設

## 文学研究科

### 文学専攻

取得学位：修士（文学）・博士（文学）

#### 修士課程

##### ◆人材養成の目的

- ①日本、中国、英米の言語・文学・思想・文化に関する教育者・研究者となるための基礎的能力を持った人材を養成する。
- ②日本、中国、英米の言語・文学・思想・文化に関する高度の専門知識・能力を持ち、中学・高校教員等の専門職に従事する人材を養成する。
- ③日本、中国、英米の言語・文学・思想・文化に関する高度の知識を活用して社会基盤を支える知的教養を有し、地域社会や国際社会や国際交流に貢献できる知見を備えた人材を養成する。

#### 博士後期課程

##### ◆人材養成の目的

- ①日本、中国、英米の言語・文学・思想・文化に関して高度な専門知識を持ち、創造性豊かな優れた研究能力を持つ研究者を養成する。
- ②日本、中国、英米の言語・文学・思想・文化に関して確かな教育能力と研究能力とを兼ね備えた教育者を養成する。

#### 通学課程

- 1981年** 修士課程設置  
(国文学専攻、中国文学専攻は1993年、英米文学専攻は1987年)
- 1991年** 博士後期課程設置  
(国文学専攻、中国文学専攻は1998年、英米文学専攻は1995年)
- 2015年** 修士課程、博士後期課程の各3専攻(国文学専攻、中国文学専攻、英米文学専攻)をそれぞれ文学専攻として設置

#### 通信教育課程

- 1999年** 修士課程開設  
(中国文学専攻、英米文学専攻、国文学専攻は2001年)
- 2015年** 修士課程(国文学専攻、中国文学専攻、英米文学専攻)を文学専攻として開設

## 文学研究科

### 歴史学専攻

取得学位：修士（文学）・博士（文学）

#### 修士課程

##### ◆人材養成の目的

- ①歴史学に関する創造性豊かな優れた知的活動を支えるための基礎的能力を持つ人材を養成する。
- ②歴史学に関する広汎で高度な専門知識や分析・研究の技能を活用できる人材を養成する。
- ③世界的視野をもって現代を見つめ、知的基盤社会を支える高度で知的な社会活動が実践できる人材を養成する。

#### 博士後期課程

##### ◆人材養成の目的

- ①歴史学に関する優れて高度な専門知識をもち、独創性豊かな優れた研究能力と優れた教育能力を兼ね備えた人材を養成する。
- ②歴史学に関する独創性豊かな優れた研究成果を学界のみならず広く社会に発信し、還元できる人材を養成する。

#### 通学課程

- 1971年** 修士課程(日本史学専攻、東洋史学専攻)設置
- 1977年** 博士後期課程(日本史学専攻、東洋史学専攻)設置
- 2015年** 修士課程、博士後期課程の各2専攻(日本史学専攻、東洋史学専攻)をそれぞれ歴史学専攻として設置

#### 通信教育課程

- 1999年** 修士課程(日本史学専攻、東洋史学専攻)開設
- 2003年** 博士後期課程(日本史学専攻)開設
- 2015年** 修士課程(日本史学専攻、東洋史学専攻)、博士後期課程(日本史学専攻)をそれぞれ歴史学専攻として開設

## 教育学研究科

### 生涯教育専攻

取得学位：修士（教育学）・博士（教育学）

#### 修士課程

##### ◆人材養成の目的

- ①教育学に関する高度な専門的知識、能力をもち、人間の生に寄り添って支援しようとする高度専門職業人を養成する。
- ②教育学に関する創造性豊かな優れた研究者・教育者となるための基礎的能力を持つ人材を養成する。
- ③教育学に関する高度な知識と技能をもって、地域社会を支える高度で知的な素養のある人間性豊かな人材を養成する。

#### 博士後期課程

##### ◆人材養成の目的

- ①教育学に関する高度な専門的知識を持ち、創造性豊かな優れた研究能力を持つ研究者を養成する。
- ②教育学に関して、確かな教育能力と研究能力を兼ね備えた教育者（大学教員等）を養成する。

##### 通学課程

1993年 修士課程設置

2001年 博士後期課程設置

##### 通信教育課程

1999年 修士課程開設

## 教育学研究科

### 臨床心理学専攻

取得学位：修士（教育学）・博士（教育学）

#### 修士課程

##### ◆人材養成の目的

- ①高度専門職業人としての「臨床心理士・公認心理師」を養成する。
- ②臨床心理学、心理臨床学に関する創造性豊かな優れた研究者・教育者となるための専門領域における基礎的能力を持つ人材を養成する。
- ③臨床心理学、心理臨床学に関する高度な知識と技能を活用しながら、地域社会を支える、高度で知的な素養のある人間性豊かな人材を養成する。

#### 博士後期課程

##### ◆人材養成の目的

- ①臨床心理学、心理臨床学に関する高度な専門的知識を持ち、創造性豊かな優れた研究能力を持つ研究者を養成する。
- ②臨床心理学、心理臨床学に関して、確かな教育能力と研究能力を兼ね備えた教育者（大学教員等）を養成する。

##### 通学課程

2002年 修士課程設置

2005年 博士後期課程設置

##### 通信教育課程

2003年 修士課程開設

## 社会学研究科

### 社会学専攻

取得学位：修士（社会学）・博士（社会学）

#### 修士課程

##### ◆人材養成の目的

- ①社会学系の文化、社会情報、共生・臨床、ソーシャル・マネジメント系の環境、地域に関する高度な知識を活用しながら、知識基盤社会を支える、高度で知的な素養のある人材を養成する。
- ②新しい社会状況に対応し得る、高度な学問的分析と政策提言のできる高度専門職業人を養成する。
- ③社会学系の文化、社会情報、共生・臨床の3領域、ソーシャル・マネジメント系の環境、地域の2領域に関する創造性豊かな優れた研究者・教育者となるための基礎的能力を持つ人材を養成する。

#### 博士後期課程

##### ◆人材養成の目的

- ①社会学における文化、社会情報、共生・臨床、環境、地域の研究領域に関して、専門的かつ先端的な課題に取り組み、高度な研究能力を持つ研究者を養成する。
- ②社会学における文化、社会情報、共生・臨床、環境、地域の研究領域に関して、確かな教育能力と研究能力を兼ね備えた教育者（大学教員等）を養成する。

##### 通学課程

1973年 修士課程設置

1977年 博士後期課程（社会学・社会福祉学専攻）設置

2006年 博士後期課程（社会学専攻）設置

##### 通信教育課程

2001年 修士課程開設

## 社会福祉学研究科

### 社会福祉学専攻

取得学位：修士（社会福祉学）・博士（社会福祉学）

#### 修士課程

##### ◆人材養成の目的

- ①社会福祉思想・社会福祉史・社会福祉原理論・社会福祉政策論・社会福祉経営論・社会福祉方法論・社会福祉実践論等に関する高度な専門的知識・能力を持つ社会福祉関係高度専門職業人を養成する。
- ②社会福祉思想・社会福祉史・社会福祉原理論・社会福祉政策論・社会福祉経営論・社会福祉方法論・社会福祉実践論等に関する創造性豊かな研究者・教育者となるための基礎的能力を持つ人材を養成する。
- ③社会福祉思想・社会福祉史・社会福祉原理論・社会福祉政策論・社会福祉経営論・社会福祉方法論・社会福祉実践論等に関する高度な知識を活用しながら、福祉社会を支える高度で知的な素養のある人材を養成する。

#### 博士後期課程

##### ◆人材養成の目的

- ①社会福祉思想・社会福祉史・社会福祉原理論・社会福祉政策論・社会福祉経営論・社会福祉方法論・社会福祉実践論等に関する高度な専門的知識を持ち、創造性豊かな研究能力を持つ研究者を養成する。
- ②社会福祉思想・社会福祉史・社会福祉原理論・社会福祉政策論・社会福祉経営論・社会福祉方法論・社会福祉実践論等に関して、確かな教育力と研究力を兼ね備えた教育者（大学教員等）を養成する。

##### 通学課程

1971年 修士課程（社会学研究科社会福祉学専攻）設置

1977年 博士後期課程（社会学研究科社会学・社会福祉学専攻）設置

2006年 修士課程、博士後期課程（社会福祉学研究科社会福祉学専攻）設置

##### 通信教育課程

1999年 修士課程（社会学研究科社会福祉学専攻）開設

2006年 修士課程（社会福祉学研究科社会福祉学専攻）開設

# I 通信教育課程 / 別科

## 通信教育課程

1953年開設（関西で最初の正規の通信制大学）／1999年通信制大学院開設（全国初）

### 学部（本科）

大学通信教育設置基準に基づく正規の大学教育課程です。卒業時に「学士」の学位が取得できます。仏教学部・文学部・歴史学部・教育学部・社会学部・社会福祉学部の6学部11学科を開設しています。

### 大学院

大学院設置基準に基づく正規の大学院課程です。修了した課程により「修士」または「博士」の学位が取得できます。文学・教育学・社会学・社会福祉学の4研究科に修士課程7専攻、文学研究科に博士後期課程2専攻を開設しています。

### 課程本科

大学や短期大学の卒業者が、その卒業資格を生かして希望する教員免許状や諸資格を取得することができる課程です。学部（本科）のいずれかの学科に所属して必要な科目を履修します。

### 科目履修コース

〈教員免許状〉〈資格〉課程では、出身大学・短期大学において教員免許状や資格の取得に必要な単位の大半を修得した方が不足単位のみを修得することや、免許状所持者が必要な単位を修得し他教科免許状を取得すること等ができます。〈教養〉課程では、学部（本科）で開講されている授業科目の履修ができます。

### 本科入学資格コース

学部（本科）1年次入学資格のない方のために設けられたコース。必要な科目を履修し単位を修得することで、学部（本科）への入学志願資格が得られます。

### 免許法認定通信教育

教員として在職経験がある方が単位修得によって上位の免許状や他の種類の免許状を短期で取得できる制度です。取得できる免許状は、小学校教諭2種免許状、中学校教諭2種免許状（英語）、特別支援学校教諭免許状、幼稚園教諭1種免許状の4つの免許状です。

## 別科（仏教専修）

1977年開設

浄土宗教師を養成する専門課程です。大本山清浄華院山内の浄山道場において、2年間の全寮生活のもと、行学を双修します。所定の単位を修得して伝宗伝戒道場を成満すると、宗規の定めるところにより資格を取得できます。

# I 附属施設・附置機関

## 附属施設・附置機関

### ■ 附属図書館（浄土宗文献室を含む）

大学の重要な学術情報基盤として、教育・研究に関する専門資料の収集・管理、提供、学術情報の発信により学生の学修、教職員の教育研究支援など教育・研究活動を支援する中枢機関です。

### ■ 高大連携センター

2023年4月開設。高大連携事業の実質化を推進し、高等学校等との信頼関係を構築しつつ、高校生等が本学の教育内容への理解を深め、入学、学修することで、教育の充実・発展ならびに人材育成に寄与することを目的としています。

### ■ 宗教教育センター（宗門後継者養成道場を含む）

建学の理念である仏教精神の具現化をはかり、宗門後継者養成と宗教情操教育を通じて、建学の精神に則した人材を養成することを目的としています。

### ■ 健康管理センター

学生・教職員の健康を支援する機関として、病気やケガの応急処置、健康診断に加え、学医・看護師による健康相談、健康づくりのための情報発信も行っています。

### ■ 学生相談センター

学生の大学生生活上の悩み・困りごとについて相談を受け、サポートする機関です。学生生活充実のためのグループワークなどの企画も行っています。

### ■ 教職支援センター

「教育実習」、「介護等体験」実施に向けた学内外の窓口として、また、実習指導講師等による教育実習期間中の訪問指導、および実習前後の教育実習支援活動等を行っています。

### ■ 専門職キャリアサポートセンター

社会福祉士、精神保健福祉士、保育士、臨床心理士、公認心理師の資格を取得するために必要な実習をサポートしています。

### ■ 国際交流センター

国際学術交流、海外留学の支援、語学研修プログラムの企画、外国人留学生・研究者の支援など、国際交流に関する教育的支援を行っています。

### ■ 法然仏教学研究センター

2014年4月開設。佛教大学の建学の理念と研究蓄積を土台とし、法然上人に関わる基礎研究と浄土宗学を徹底して推進することにより、佛教大学でしかなしえない法然仏教学の確立を目指します。

### ■ 総合研究所

様々な研究テーマを立てて組織された複数の共同研究を行い、その研究成果を広く社会へ還元します。1991年4月に開設。2021年度に開設30周年を迎えました。

### ■ 臨床心理学研究センター

臨床心理に関する研究・教育の機関として、臨床心理相談室におけるカウンセリング、臨床心理実習における教育、幼稚園へのカウンセラー派遣など、臨床心理学の学術研究推進とその成果による社会貢献事業を展開します。

### ■ 宗教文化ミュージアム

展示室と劇場を兼ね備えた博物館として2008年4月に開館。特別展や企画展、シアター公演などを開催し、宗教文化に関する調査、研究の成果を広く社会に公開しています。

### ■ 社会連携センター

教育・研究成果から生まれた大学の「知」を活用し、地域の人々、企業、団体、行政との連携に組織的・総合的に取り組み、地域社会における新たなネットワークづくりと諸課題の解決をめざします。

### ■ オープンラーニングセンター（O.L.C.）

大学の研究・教育の成果を社会に開放し、各種テーマに基づいた「公開講座」を中心に、市民が気軽に参加できるイベントなど、生涯学習の支援という形で社会への還元を図っていきます。2021年4月、四条センターからオープンラーニングセンター（O.L.C.）として生まれ変わり、対面とオンラインを融合した「ハイフレックス型」の講座展開と、定額会員制の導入などさらに開かれた生涯学習事業を目指します。

### ■ 人権教育センター

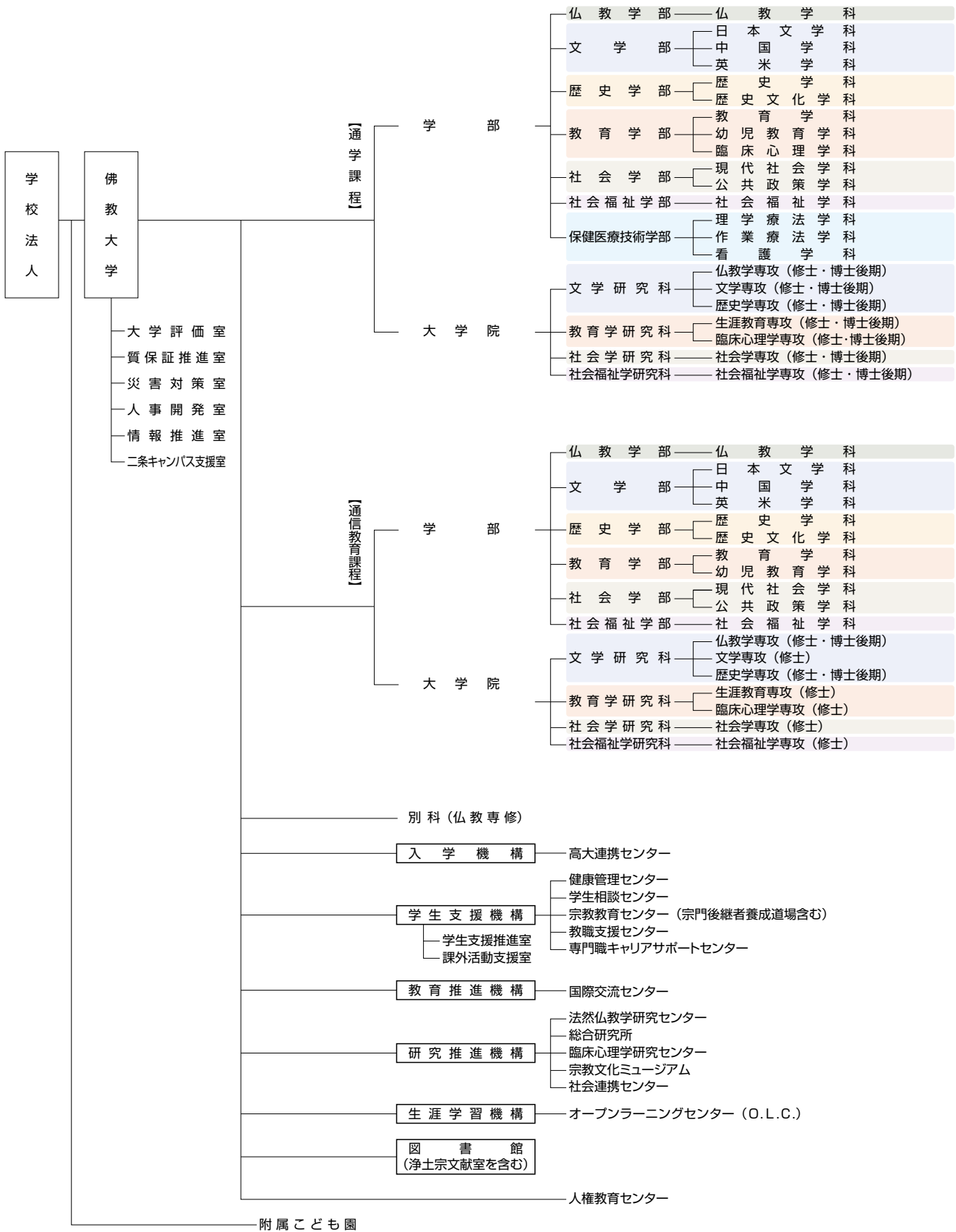
人権教育の推進、人権啓発事業、ハラスメント防止に向けた取り組みを行い、人権意識の高揚に努めるとともに、ハラスメント等人権侵害の相談にも応じています。

### ■ 幼保連携型認定こども園 佛教大学附属こども園

子どもたちのありのままの気持ちに寄り添う保育により、仏教精神に基づく心豊かな子どもの育成を行っています。また、大学の附置機関の一つとして、教育者を志す学生の実習の場という役割も果たしています。

# 教育機構

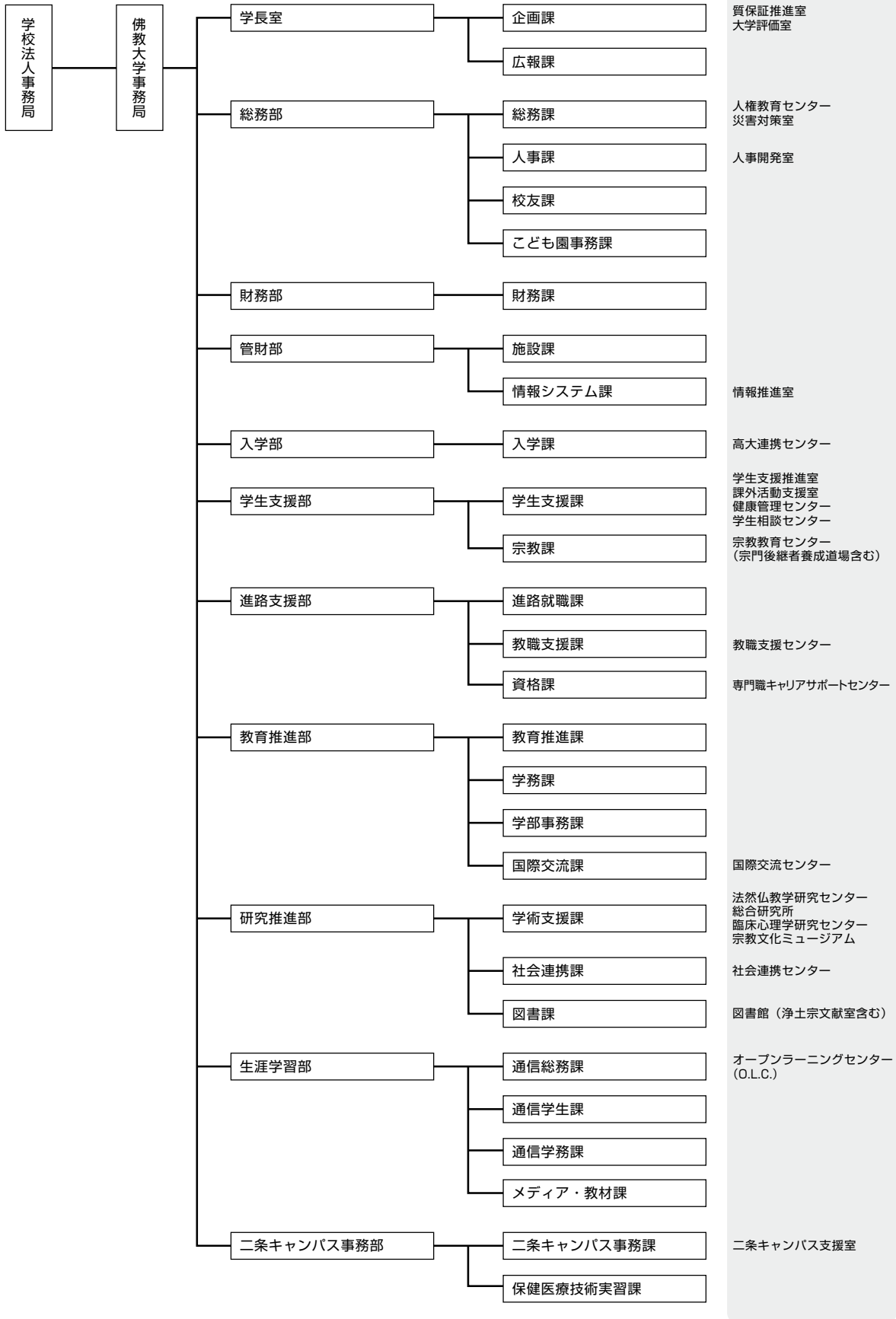
2023年度





# 事務機構

2023年度



# 役職者／教員・職員数

2023年5月1日現在

## 役職者

役職名	氏名
学長	伊藤 真宏
副学長	原 清治
	松本 真治
	貝 英幸
	山極 伸之
事務局長	山極 伸之

役職名	氏名
仏教学部長	曾和 義宏
文学部長	鵜飼 光昌
歴史学部長	麓 慎一
教育学部長	小林 隆
社会学部長	堀江 典子
社会福祉学部長	藤松 素子
保健医療技術学部長	未安 民生

## 専任教員

区分		教授						准教授						講師						助教			合計		
					内特別任用						内特別任用														
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
仏教学部	仏教学科	5	1	6	0	0	0	5	0	5	0	0	0	2	0	2	0	0	0	-	-	-	12	1	13
	小計	5	1	6	0	0	0	5	0	5	0	0	0	2	0	2	0	0	0	-	-	-	12	1	13
文学部	日本文学科	4	2	6	0	1	1	3	0	3	0	0	0	2	0	2	0	0	0	-	-	-	9	2	11
	中国学科	3	0	3	0	0	0	1	2	3	0	0	0	1	3	4	1	0	1	-	-	-	5	5	10
	英米学科	3	0	3	0	0	0	1	2	3	0	0	0	3	1	4	0	0	0	-	-	-	7	3	10
	小計	10	2	12	0	1	1	5	4	9	0	0	0	6	4	10	1	0	1	-	-	-	21	10	31
歴史学部	歴史学科	6	1	7	1	0	1	1	1	2	0	0	0	1	1	2	0	0	0	-	-	-	8	3	11
	歴史文化学科	5	2	7	0	0	0	2	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	-	-	-	8	2	10
	小計	11	3	14	1	0	1	3	1	4	0	0	0	2	1	3	0	0	0	-	-	-	16	5	21
教育学部	教育学科	14	2	16	3	0	3	3	3	6	0	0	0	4	0	4	3	0	3	-	-	-	21	5	26
	幼児教育学科	3	3	6	1	0	1	0	1	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	-	-	-	4	4	8
	臨床心理学科	5	0	5	0	0	0	3	1	4	0	0	0	2	0	2	1	0	1	-	-	-	10	1	11
	小計	22	5	27	4	0	4	6	5	11	0	0	0	7	0	7	5	0	5	-	-	-	35	10	45
社会学部	現代社会学科	5	3	8	0	0	0	5	0	5	0	0	0	3	0	3	0	0	0	-	-	-	13	3	16
	公共政策学科	7	1	8	0	0	0	6	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	13	1	14
	小計	12	4	16	0	0	0	11	0	11	0	0	0	3	0	3	0	0	0	-	-	-	26	4	30
社会福祉学部	社会福祉学科	10	5	15	0	0	0	5	2	7	0	0	0	0	1	1	0	1	1	-	-	-	15	8	23
	小計	10	5	15	0	0	0	5	2	7	0	0	0	0	1	1	0	1	1	-	-	-	15	8	23
保健医療技術学部	理学療法学科	4	0	4	0	0	0	4	1	5	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3	0	3	12	1	13
	作業療法学科	3	2	5	0	0	0	1	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4	8	5	13
	看護学科	2	6	8	0	0	0	0	7	7	0	0	0	1	4	5	0	0	0	1	8	9	4	25	29
	小計	9	8	17	0	0	0	5	11	16	0	0	0	2	4	6	0	0	0	8	8	16	24	31	55
実習指導講師		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	4	14	-	-	-	-	-	-	10	4	14
契約講師		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	0
合計		79	28	107	5	1	6	40	23	63	0	0	0	32	14	46	6	1	7	8	8	16	159	73	232

## 事務職員

区分	男	女	合計
専任職員	79	80	159
契約専門職員	9	23	32
強化指定スポーツ特別指導者	0	0	0
ポスト・ドクター	0	0	0
合計	88	103	191

## 客員教授

男	女	合計
3	0	3

## 非常勤講師

通学課程	通信教育課程	合計
463	285	748

※両課程を担当する場合、課程ごとに計上

# I 入試・入学状況

2023年度

## 通学課程 (学部)

学部	学科 (定員)	一般選抜 (共通テスト含)	総合型選抜 (自己推薦制)	学校推薦型選抜 (公募制)	その他の選抜	合計	
仏教学部	仏教学科 (60)	志願者数	78	5	85	36	204
		受験者数	70	5	81	36	192
		合格者数	43	5	58	36	142
		実質競争率	1.6	1.0	1.4	1.0	1.4
		入学者数	8	5	3	30	46
文学部	日本文学科 (120)	志願者数	349	12	463	44	868
		受験者数	339	12	447	44	842
		合格者数	180	12	295	42	529
		実質競争率	1.9	1.0	1.5	1.0	1.6
		入学者数	35	12	60	33	140
	中国学科 (50)	志願者数	70	6	60	21	157
		受験者数	69	6	60	21	156
		合格者数	51	6	53	21	131
		実質競争率	1.4	1.0	1.1	1.0	1.2
	英米学科 (70)	志願者数	190	0	201	28	419
		受験者数	180	0	200	28	408
		合格者数	139	0	176	28	343
		実質競争率	1.3	0.0	1.1	1.0	1.2
	文学部合計 (240)	志願者数	609	18	724	93	1,444
		受験者数	588	18	707	93	1,406
		合格者数	370	18	524	91	1,003
		実質競争率	1.6	1.0	1.3	1.0	1.4
歴史学部	歴史学科 (110)	志願者数	497	16	611	40	1,164
		受験者数	484	16	609	40	1,149
		合格者数	194	10	296	37	537
		実質競争率	2.5	1.6	2.1	1.1	2.1
	歴史文化学科 (70)	志願者数	195	11	238	20	464
		受験者数	188	11	238	20	457
		合格者数	109	11	178	18	316
		実質競争率	1.7	1.0	1.3	1.1	1.4
	歴史学部 合計 (180)	志願者数	692	27	849	60	1,628
		受験者数	672	27	847	60	1,606
		合格者数	303	21	474	55	853
		実質競争率	2.2	1.3	1.8	1.1	1.9
	教育学部	教育学科 (130)	志願者数	1,239	17	1,125	61
受験者数			1,227	17	1,109	58	2,411
合格者数			305	14	198	58	575
実質競争率			4.0	1.2	5.6	1.0	4.2
幼児教育学科 (80)		志願者数	365	17	589	47	1,018
		受験者数	360	17	589	47	1,013
		合格者数	45	7	94	46	192
		実質競争率	8.0	2.4	6.3	1.0	5.3
臨床心理学科 (80)		志願者数	6	7	26	44	83
		志願者数	314	9	442	33	798
		受験者数	308	8	438	32	786
		合格者数	96	8	158	31	293
教育学部 合計 (290)		志願者数	314	9	442	33	798
		受験者数	308	8	438	32	786
		合格者数	96	8	158	31	293
		実質競争率	3.2	1.0	2.8	1.0	2.7
教育学部 合計 (290)		志願者数	1,918	43	2,156	141	4,258
	受験者数	1,895	42	2,136	137	4,210	
	合格者数	446	29	450	135	1,060	
	実質競争率	4.2	1.4	4.7	1.0	4.0	
	入学者数	65	29	107	107	308	

学部	学科 (定員)	一般選抜 (共通テスト含)	総合型選抜 (自己推薦制)	学校推薦型選抜 (公募制)	その他の選抜	合計		
社会学部	現代社会学科 (200)	志願者数	618	15	691	89	1,413	
		受験者数	589	15	688	89	1,381	
		合格者数	291	13	471	86	861	
		実質競争率	2.0	1.2	1.5	1.0	1.6	
		入学者数	56	13	93	75	237	
	公共政策学科 (120)	志願者数	379	16	374	54	823	
		受験者数	361	16	373	54	804	
		合格者数	204	14	232	54	504	
		実質競争率	1.8	1.1	1.6	1.0	1.6	
		入学者数	38	14	37	44	133	
	社会学部 合計 (320)	志願者数	997	31	1,065	143	2,236	
		受験者数	950	31	1,061	143	2,185	
		合格者数	495	27	703	140	1,365	
実質競争率		1.9	1.1	1.5	1.0	1.6		
社会学部 合計 (320)	入学者数	94	27	130	119	370		
	社会福祉学部	社会福祉学科 (220)	志願者数	432	27	636	103	1,198
			受験者数	426	26	632	103	1,187
			合格者数	328	26	402	102	858
実質競争率			1.3	1.0	1.6	1.0	1.4	
入学者数			63	26	55	91	235	
保健医療 技術学部	理学療法学科 (40)	志願者数	254	10	392	27	683	
		受験者数	249	10	388	26	673	
		合格者数	44	7	35	23	109	
		実質競争率	5.7	1.4	11.1	1.1	6.2	
		入学者数	12	7	6	17	42	
	作業療法学科 (40)	志願者数	154	6	92	26	278	
		受験者数	149	5	92	26	272	
		合格者数	38	4	34	26	102	
		実質競争率	3.9	1.3	2.7	1.0	2.7	
		入学者数	6	4	10	22	42	
	看護学科 (65)	志願者数	425	11	696	33	1,165	
		受験者数	419	11	687	33	1,150	
		合格者数	137	5	154	32	328	
		実質競争率	3.1	2.2	4.5	1.0	3.5	
		入学者数	21	5	20	24	70	
	保健医療技術 学部合計 (145)	志願者数	833	27	1,180	86	2,126	
		受験者数	817	26	1,167	85	2,095	
合格者数		219	16	223	81	539		
実質競争率		3.7	1.6	5.2	1.0	3.9		
入学者数		39	16	36	63	154		
大学計 (1,455)	志願者数	5,559	178	6,695	662	13,094		
	受験者数	5,418	175	6,631	657	12,881		
	合格者数	2,204	142	2,834	640	5,820		
	実質競争率	2.5	1.2	2.3	1.0	2.2		
	入学者数	381	142	497	521	1,541		

# 入試・入学状況

## 通学課程（編入学・転籍等）

学部	学科	編入学					転学部・転学科・転籍			
		定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願者数	受験者数	合格者数	異動者数
仏教学部	仏教学科	5	2	2	2	2	1	1	1	1
	小計	5	2	2	2	2	1	1	1	1
文学部	日本文学科	若干名	3	3	1	1	1	1	0	-
	中国学科	若干名	1	1	0	-	0	-	-	-
	英米学科	5	5	5	5	4	0	-	-	-
	小計	5	9	9	6	5	1	1	0	-
歴史学部	歴史学科	5	1	1	1	1	0	-	-	-
	歴史文化学科	若干名	0	-	-	-	0	-	-	-
	小計	5	1	1	1	1	0	-	-	-
教育学部	教育学科	10	4	2	2	2	3	2	1	1
	臨床心理学科	5	8	7	1	1	0	-	-	-
	小計	15	12	9	3	3	3	2	1	1
社会学部	現代社会学科	若干名	8	7	4	4	0	-	-	-
	公共政策学科	若干名	3	2	1	1	0	-	-	-
	小計		11	9	5	5	0	-	-	-
社会福祉学部	社会福祉学科	15	2	1	0	-	0	-	-	-
	小計	15	2	1	0	-	0	-	-	-
合計		45	37	31	17	16	5	4	2	2

## 大学院

区分	研究科	専攻	通学課程					通信教育課程				
			定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
修士課程	文学研究科	仏教学専攻	10	8	7	6	6	15	6	6	6	6
		文学専攻	10	7	6	6	5	15	5	5	4	4
		歴史学専攻	10	7	7	4	4	15	13	13	3	3
		小計	30	22	20	16	15	45	24	24	13	13
	教育学研究科	生涯教育専攻	10	3	2	2	2	10	17	16	13	12
		臨床心理学専攻	10	26	24	10	9	6	20	19	5	4
		小計	20	29	26	12	11	16	37	35	18	16
	社会学研究科	社会学専攻	5	5	5	2	2	10	8	8	8	8
		小計	5	5	5	2	2	10	8	8	8	8
	社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	5	5	5	3	3	10	10	10	6	5
小計		5	5	5	3	3	10	10	10	6	5	
修士課程合計			60	61	56	33	31	81	79	77	45	42
博士後期課程	文学研究科	仏教学専攻	3	5	5	5	5	3	2	2	2	2
		文学専攻	3	1	1	0	-					
		歴史学専攻	3	0	-	-	-	3	3	3	1	1
		小計	9	6	6	5	5	6	5	5	3	3
	教育学研究科	生涯教育専攻	3	6	6	3	2					
		臨床心理学専攻	3	0	-	-	-					
	小計	6	6	6	3	2						
	社会学研究科	社会学専攻	3	0	-	-	-					
		小計	3	0	-	-	-					
	社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	3	4	4	4	3					
小計		3	4	4	4	3						
博士後期課程合計			21	16	16	12	10	6	5	5	3	3
大学院合計			81	77	72	45	41	87	84	82	48	45

## 別科（仏教専修）

別科（仏教専修）	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
	40	7	7	7	6

# 在籍学生数

2023年5月1日現在

## 通学課程

区分	第1学年				第2学年				第3学年				第4学年				合計				
	定員	現員			定員	現員			定員	現員			定員	現員			定員	現員			
		男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計	
<b>学部</b>																					
仏教学部	仏教学科	60	38	8	46	60	55	9	64	65	40	5	45	65	71	10	81	250	204	32	236
	小計	60	38	8	46	60	55	9	64	65	40	5	45	65	71	10	81	250	204	32	236
文学部	日本文学科	120	67	74	141	120	56	76	132	120	58	71	129	120	74	64	138	480	255	285	540
	中国学科	50	17	17	34	50	16	25	41	50	18	32	50	50	36	33	69	200	87	107	194
	英米学科	70	40	18	58	70	44	31	75	75	40	31	71	75	45	41	86	290	169	121	290
	小計	240	124	109	233	240	116	132	248	245	116	134	250	245	155	138	293	970	511	513	1,024
歴史学部	歴史学科	110	98	28	126	110	98	33	131	115	70	39	109	115	96	37	133	450	362	137	499
	歴史文化学科	70	42	28	70	70	33	42	75	70	46	33	79	70	40	49	89	280	161	152	313
	小計	180	140	56	196	180	131	75	206	185	116	72	188	185	136	86	222	730	523	289	812
教育学部	教育学科	130	70	65	135	130	69	63	132	140	67	85	152	140	68	79	147	540	274	292	566
	幼児教育学科	80	5	79	84	80	8	91	99	-	-	-	-	-	-	-	-	160	13	170	183
	臨床心理学科	80	35	58	93	80	37	50	87	65	32	37	69	65	33	37	70	290	137	182	319
	小計	290	110	202	312	290	114	204	318	205	99	122	221	205	101	116	217	990	424	644	1,068
社会学部	現代社会学科	200	151	87	238	200	115	88	203	200	119	88	207	200	129	76	205	800	514	339	853
	公共政策学科	120	97	36	133	120	102	27	129	120	94	32	126	120	97	32	129	480	390	127	517
	小計	320	248	123	371	320	217	115	332	320	213	120	333	320	226	108	334	1,280	904	466	1,370
社会福祉学部	社会福祉学科	220	93	144	237	220	95	128	223	285	128	139	267	285	132	155	287	1,010	448	566	1,014
	小計	220	93	144	237	220	95	128	223	285	128	139	267	285	132	155	287	1,010	448	566	1,014
保健医療技術学部	理学療法学科	40	16	27	43	40	24	18	42	40	23	16	39	40	16	28	44	160	79	89	168
	作業療法学科	40	13	30	43	40	13	28	41	40	8	35	43	40	13	28	41	160	47	121	168
	看護学科	65	6	64	70	65	13	55	68	65	3	61	64	65	8	57	65	260	30	237	267
	小計	145	35	121	156	145	50	101	151	145	34	112	146	145	37	113	150	580	156	447	603
<b>学部合計</b>		1,455	788	763	1,551	1,455	778	764	1,542	1,450	746	704	1,450	1,450	858	726	1,584	5,810	3,170	2,957	6,127
<b>その他</b>																					
別科	40	5	1	6	40	1	0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	80	6	1	7	
科目履修生	-	5	6	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	6	11	
研究員・研究生	-	9	12	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	12	21	

# 在籍学生数

区分		第1学年				第2学年				第3学年				合計					
		定員	現員			定員	現員			定員	現員			定員	現員				
			男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計		
<b>大学院</b>																			
修士課程	文学研究科	仏教学専攻	10	6	0	6	10	8	0	8	-	-	-	-	20	14	0	14	
		文学専攻	10	2	3	5	10	3	0	3	-	-	-	-	20	5	3	8	
		歴史学専攻	10	3	1	4	10	1	2	3	-	-	-	-	20	4	3	7	
		小計	30	11	4	15	30	12	2	14	-	-	-	-	60	23	6	29	
	教育学研究科	生涯教育専攻	10	0	2	2	10	2	0	2	-	-	-	-	20	2	2	4	
		臨床心理学専攻	10	5	4	9	10	6	5	11	-	-	-	-	20	11	9	20	
		小計	20	5	6	11	20	8	5	13	-	-	-	-	40	13	11	24	
	社会学研究科	社会学専攻	5	0	2	2	5	2	0	2	-	-	-	-	10	2	2	4	
		小計	5	0	2	2	5	2	0	2	-	-	-	-	10	2	2	4	
	社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	5	1	2	3	5	1	1	2	-	-	-	-	10	2	3	5	
		小計	5	1	2	3	5	1	1	2	-	-	-	-	10	2	3	5	
	修士課程合計		60	17	14	31	60	23	8	31	-	-	-	-	120	40	22	62	
	博士後期課程	文学研究科	仏教学専攻	3	5	0	5	3	0	0	0	3	7	1	8	9	12	1	13
			文学専攻	3	0	0	0	3	0	0	0	3	0	1	1	9	0	1	1
歴史学専攻			3	0	0	0	3	0	0	0	3	2	3	5	9	2	3	5	
小計			9	5	0	5	9	0	0	0	9	9	5	14	27	14	5	19	
教育学研究科		生涯教育専攻	3	1	1	2	3	1	2	3	3	1	3	4	9	3	6	9	
		臨床心理学専攻	3	0	0	0	3	0	0	0	3	1	1	2	9	1	1	2	
		小計	6	1	1	2	6	1	2	3	6	2	4	6	18	4	7	11	
社会学研究科		社会学専攻	3	0	0	0	3	3	2	5	3	2	2	4	9	5	4	9	
		小計	3	0	0	0	3	3	2	5	3	2	2	4	9	5	4	9	
社会福祉学研究科		社会福祉学専攻	3	1	2	3	3	1	3	4	3	3	6	9	9	5	11	16	
		小計	3	1	2	3	3	1	3	4	3	3	6	9	9	5	11	16	
博士後期課程合計		21	7	3	10	21	5	7	12	21	16	17	33	63	28	27	55		
<b>大学院合計</b>		81	24	17	41	81	28	15	43	21	16	17	33	183	68	49	117		

通信教育課程

区分	第1学年				第2学年				第3学年				第4学年				合計				
	定員	現員			定員	現員			定員	現員			定員	現員			定員	現員			
		男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計	
<b>学部</b>																					
仏教学部	仏教学科	100	10	14	24	100	11	10	21	300	32	29	61	300	105	61	166	800	158	114	272
	小計	100	10	14	24	100	11	10	21	300	32	29	61	300	105	61	166	800	158	114	272
文学部	日本文学科	100	8	14	22	100	17	20	37	300	51	84	135	300	102	135	237	800	178	253	431
	中国学科	50	3	11	14	50	2	7	9	150	3	12	15	150	13	33	46	400	21	63	84
	英米学科	100	15	17	32	100	19	21	40	300	95	117	212	300	149	202	351	800	278	357	635
	小計	250	26	42	68	250	38	48	86	750	149	213	362	750	264	370	634	2,000	477	673	1,150
歴史学部	歴史学科	100	30	13	43	100	20	23	43	150	101	36	137	150	236	98	334	500	387	170	557
	歴史文化学科	100	10	21	31	100	13	13	26	300	34	42	76	300	71	84	155	800	128	160	288
	小計	200	40	34	74	200	33	36	69	450	135	78	213	450	307	182	489	1,300	515	330	845
教育学部	教育学科	400	32	29	61	400	41	31	72	1,000	331	265	596	1,000	749	579	1,328	2,800	1,153	904	2,057
	幼児教育学科	50	2	15	17	100	2	14	16	-	-	-	-	-	-	-	-	150	4	29	33
	小計	450	34	44	78	500	43	45	88	1,000	331	265	596	1,000	749	579	1,328	2,950	1,157	933	2,090
社会学部	現代社会学科	300	13	10	23	300	11	12	23	500	31	32	63	500	66	36	102	1,600	121	90	211
	公共政策学科	100	2	3	5	100	5	2	7	500	9	4	13	500	12	6	18	1,200	28	15	43
	小計	400	15	13	28	400	16	14	30	1,000	40	36	76	1,000	78	42	120	2,800	149	105	254
社会福祉学部	社会福祉学科	200	12	40	52	200	15	38	53	1,200	32	89	121	1,200	90	257	347	2,800	149	424	573
	小計	200	12	40	52	200	15	38	53	1,200	32	89	121	1,200	90	257	347	2,800	149	424	573
<b>学部合計</b>		1,600	137	187	324	1,650	156	191	347	4,700	719	710	1,429	4,700	1,593	1,491	3,084	12,650	2,605	2,579	5,184
<b>その他</b>																					
科目履修コース		-	1,086	1,133	2,219	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,086	1,133	2,219
教養講座		-	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0
認定通信教育		-	80	181	261	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	80	181	261
本科入学資格コース		-	4	9	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	9	13
教職リカレントプログラム		-	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0
<b>合計</b>		-	1,170	1,323	2,493	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,170	1,323	2,493



# 在籍学生数

区分		第1学年				第2学年				第3学年				合計				
		定員	現員			定員	現員			定員	現員			定員	現員			
			男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計	
<b>大学院</b>																		
<b>修士課程</b>	文学研究科	仏教学専攻	15	7	0	7	15	8	1	9	-	-	-	-	30	15	1	16
		文学専攻	15	2	2	4	15	3	5	8	-	-	-	-	30	5	7	12
		歴史学専攻	15	3	0	3	15	9	4	13	-	-	-	-	30	12	4	16
		小計	45	12	2	14	45	20	10	30	-	-	-	-	90	32	12	44
	教育学研究科	生涯教育専攻	10	6	6	12	10	9	8	17	-	-	-	-	20	15	14	29
		臨床心理学専攻	6	1	4	5	6	5	2	7	6	4	6	10	18	10	12	22
		小計	16	7	10	17	16	14	10	24	6	4	6	10	38	25	26	51
	社会学研究科	社会学専攻	10	7	4	11	10	6	5	11	-	-	-	-	20	13	9	22
		小計	10	7	4	11	10	6	5	11	-	-	-	-	20	13	9	22
	社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	10	3	3	6	10	2	7	9	-	-	-	-	20	5	10	15
小計		10	3	3	6	10	2	7	9	-	-	-	-	20	5	10	15	
修士課程合計		81	29	19	48	81	42	32	74	6	4	6	10	168	75	57	132	
<b>博士後期課程</b>	文学研究科	仏教学専攻	3	2	1	3	3	2	0	2	3	5	0	5	9	9	1	10
		歴史学専攻	3	1	0	1	3	2	3	5	3	6	3	9	9	9	6	15
		小計	6	3	1	4	6	4	3	7	6	11	3	14	18	18	7	25
	博士後期課程合計		6	3	1	4	6	4	3	7	6	11	3	14	18	18	7	25
<b>大学院合計</b>		87	32	20	52	87	46	35	81	12	15	9	24	186	93	64	157	

# 卒業生・学位授与者・修了者数

2022年度

学部 卒業生数 ※1 卒業生累計には昭和40年3月卒業生までの539名を含む ※2 卒業生累計には昭和40年9月卒業生までの623名を含む

学部・学科		通学課程		通信教育課程	
		2022年度	累計	2022年度	累計
仏教学部	仏教学科	55	1132※1	19	814※2
	仏教福祉学科	-	22	-	65
	小計	55	1,154	19	879
文学部	日本文学科	108	1,241	16	118
	中国学科	63	800	7	72
	英米学科	61	1,205	34	482
	人文学科	-	2,125	-	423
	仏教学科	-	4,789	-	2,469
	史学科	-	4,969	-	1,695
	国文学科	-	3,427	-	1,587
	日本語日本文学科	-	345	-	84
	中国文学科	-	872	-	179
	中国語中国文学科	-	174	-	39
	英文学科	-	2,284	-	1,922
	英語英米文学科	-	258	-	176
	教育学科	-	2,456	-	3,287
	社会福祉学科	-	79	-	128
小計	232	25,024	57	12,661	
歴史学部	歴史学科	113	1,173	8	97
	歴史文化学科	67	715	7	103
	小計	180	1,888	15	200
教育学部	教育学科	134	3,951	65	2,465
	臨床心理学科	61	1,255		
	社会教育学科	-	903		
	生涯学習学科	-	427		
	小計	195	6,536	65	2,465
社会学部	現代社会学科	229	3,563	5	139
	公共政策学科	140	2,115	2	71
	社会学科	-	7,733	-	1,368
	応用社会学科	-	2,246	-	571
	社会福祉学科	-	6,893	-	18,850
	健康福祉学科	-	515		
小計	369	23,065	7	20,999	
社会福祉学部	社会福祉学科	290	4,658	52	1,255
	小計	290	4,658	52	1,255
保健医療技術学部	理学療法学科	41	546		
	作業療法学科	38	480		
	看護学科	67	521		
	小計	146	1,547		
学部合計		1,467	63,872	215	38,459

## 大学院 学位授与者数

研究科		通学課程		通信教育課程	
		2022年度	累計	2022年度	累計
修士課程	文学研究科	20	1,111	18	639
	教育学研究科	9	461	17	323
	社会学研究科	4	283	4	185
	社会福祉学研究科	1	40	6	110
合計		34	1,895	45	1,257

研究科		通学課程		通信教育課程	
		2022年度	累計	2022年度	累計
博士後期課程	文学研究科	3	92	1	32
	教育学研究科	2	20		
	社会学研究科	-	33		
	社会福祉学研究科	2	20		
合計		7	165	1	32

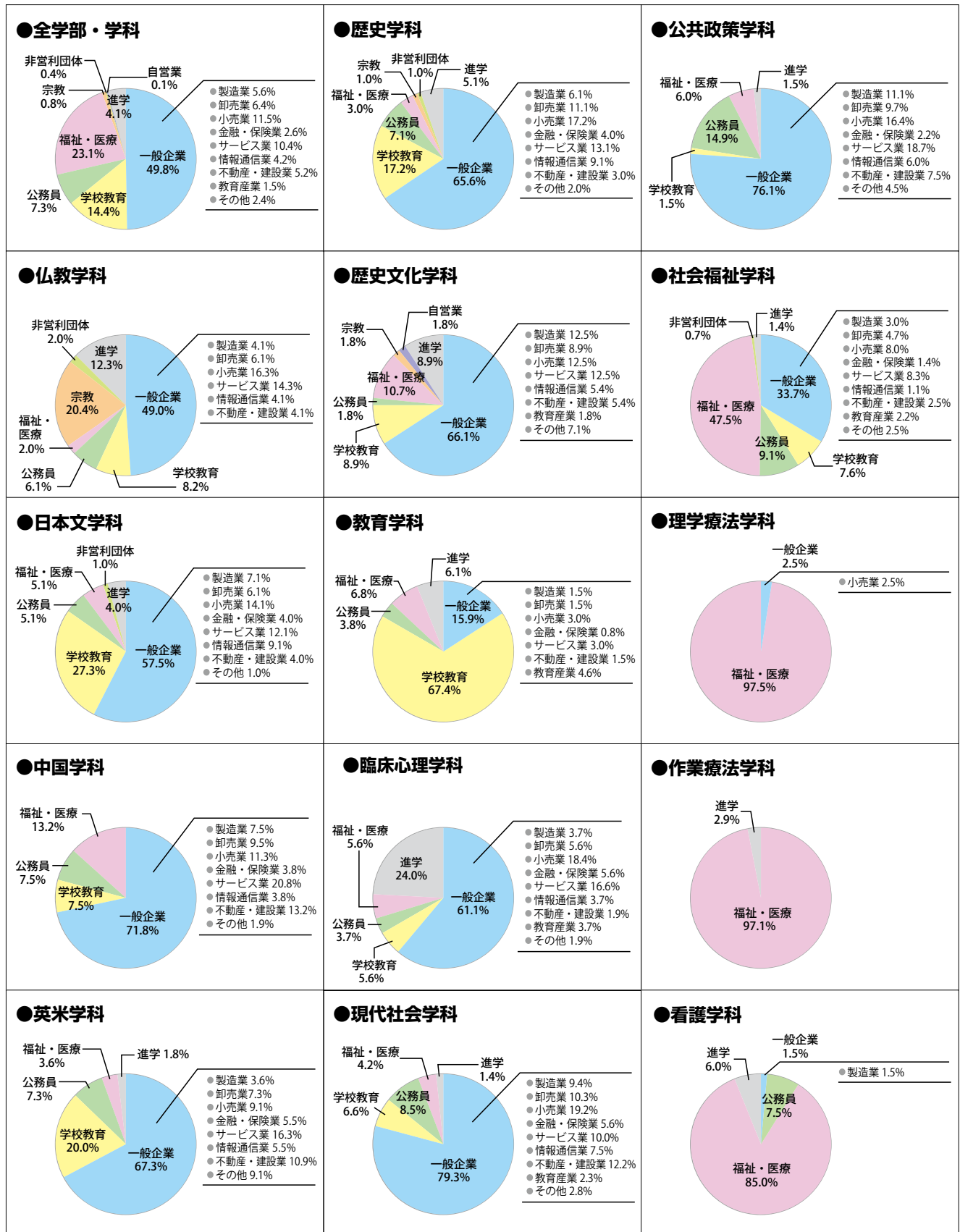
## 専攻科/別科 修了者数

課程		通学課程		通信教育課程	
		2022年度	累計	2022年度	累計
専攻科		-	402	-	107
別科(仏教専修)		6	595		

# 進路・就職

2022年度卒業生

## 卒業生 進路状況一覧



2022年度

## インターンシップ受入事業所・学校数

## 一般インターンシップ

分類	受入事業所数	受入人数
製造業	1	7
小売業	1	4
印刷・広告業	0	-
金融・証券業	0	-
ホテル・旅館業	1	6
人材ビジネス業	0	-
サービス業	1	8
官公庁・地方自治体・非営利等	0	-
その他	0	-
合計	4	25

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、大学にて課題研修を実施。

## 教育職インターンシップ

所管	校種	研修校数(校)	受入人数(名)
京都府教育委員会	小学校	1	1
	中学校	1	1
	高等学校	2	4
	特別支援学校	2	2
	小計	6	8
京都市教育委員会	小学校	1	3
	中学校	1	1
	高等学校	1	3
	小計	3	7
大津市教育委員会	小学校	1	2
	中学校	1	2
	小計	2	4
佛 教 大 学 附 属 幼 稚 園		1	1
合計		12	20

2022年度

## インターンシップ修了者数

## 一般インターンシップ

学科	2年生			3年生			4年生			合計
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	
仏教学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本文学科	0	0	0	1	2	3	0	0	0	3
中国学科	0	0	0	0	2	2	0	0	0	2
英米学科	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1
歴史学科	0	2	2	1	0	1	0	0	0	3
歴史文化学科	1	0	1	1	0	1	0	0	0	2
教育学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
臨床心理学科	0	0	0	0	3	3	0	0	0	3
現代社会学科	0	2	2	0	0	0	0	0	0	2
公共政策学科	2	0	2	3	3	6	0	0	0	8
社会福祉学科	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1
理学療法学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
作業療法学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
看護学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	4	4	8	7	10	17	0	0	0	25

## 教育職インターンシップ

学科	2年生			3年生			合計
	男	女	小計	男	女	小計	
仏教学科	0	0	0	0	1	1	1
日本文学科	0	0	0	1	1	2	2
中国学科	0	0	0	0	1	1	1
英米学科	0	0	0	0	0	0	0
歴史学科	1	0	1	2	4	6	7
歴史文化学科	0	0	0	1	0	1	1
教育学科	0	2	2	0	4	4	6
臨床心理学科	0	0	0	0	1	1	1
現代社会学科	0	0	0	0	0	0	0
公共政策学科	0	0	0	0	0	0	0
社会福祉学科	0	0	0	0	1	1	1
合計	1	2	3	4	13	17	20

# 教員免許状・資格取得者数

2022年度

教員免許状取得者数 ( ) 内は免許併修による取得者数

区分	通学課程	通信教育課程	合計
幼稚園	52 (20)	11	63
小学校	140 (29)	150	290
中学校	230 (10)	136	366
高等学校	254 (11)	167	421
特別支援学校	56	33	89
合計	732	497	1,229

資格取得者数

区分	通学課程	通信教育課程	合計
図書館司書	47	2	49
学校図書館司書教諭	42	13	55
学校司書	11	-	11
博物館学芸員	54	35	89
社会教育主事	7	1	8
社会福祉士国家試験受験資格	145	29	174
精神保健福祉士国家試験受験資格	20	8	28
保育士	73	6	79
公認心理師国家試験受験資格	6	-	6
臨床心理士試験受験資格	8	3	11
理学療法士国家試験受験資格	41	-	41
作業療法士国家試験受験資格	38	-	38
看護師国家試験受験資格	67	-	67
保健師国家試験受験資格	15	-	15
浄土宗教師	16	3	19
浄土宗開教使	2	-	2
浄土宗社会教化主事	3	-	3
社会調査士	37	-	37
合計	632	100	732

※2022年9月および2023年3月取得者数。

# 実習実施者数

2022年度

教育実習実施者数 ( ) 内は免許併修による実施件数

区分	通学課程	通信教育課程	合計
小学校	103	382 (34)	485
中学校・高等学校	268	272 (10)	540
幼稚園	33	41 (24)	74
特別支援学校	56	62	118
教育実習特例*	2	3	5
合計	462	760	1,222

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、特例措置を実施した件数。

介護等体験実施件数

区分	通学課程	通信教育課程	合計
社会福祉施設等	0	0	0
特別支援学校	0	0	0
代替措置*	404	474	878
合計	404	474	878

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、代替措置を実施した件数。

博物館実習実施者数

通学課程	通信教育課程	合計
52	49	101

心理実習実施者数 (学部)

通学課程	通信教育課程	合計
44	—	44

臨床心理実習・心理実践実習実施者数 (大学院)

通学課程	通信教育課程	合計
19	5	24

### 図書館実習実施者数

通学課程	通信教育課程	合計
9	—	9

### 社会教育実習実施者数

通学課程	通信教育課程	合計
10	4	14

### 社会福祉援助技術現場実習・ソーシャルワーク実習実施者数

	通学課程	通信教育課程	合計
社会福祉援助技術現場実習	139	23	162
ソーシャルワーク実習	141	—	141

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、代替措置を適用した件数を含む。

### 精神保健福祉援助実習実施者数

通学課程	通信教育課程	合計
41	22	63

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、代替措置を適用した件数を含む。

### 保育実習実施者数

通学課程	通信教育課程	合計
218	7	225

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、代替措置を適用した件数を含む。

### 社会福祉総合実習（高校福祉免許）実施者数

通学課程	通信教育課程	合計
—	2	2

### 理学療法実習実施者数

学年	科目名	実習実施者数
2	臨床基礎実習	39
3	臨床評価実習	43
4	総合臨床実習Ⅰ	41
	総合臨床実習Ⅱ	41

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、代替措置を適用した件数を含む。

### 作業療法実習実施者数

学年	科目名	実習実施者数
1	臨床基礎実習Ⅰ	43
2	臨床基礎実習Ⅱ	41
3	臨床評価実習	33
4	総合臨床実習Ⅰ	38
	総合臨床実習Ⅱ	38
	総合臨床実習Ⅲ	38

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、代替措置を適用した件数を含む。

### 看護実習実施者数

学年	科目名	実習実施者数
1	コミュニティ実習	65
	基礎看護学実習Ⅰ	65
2	基礎看護学実習Ⅱ	67
	老年ともいき実習	66
3	成人看護学実習Ⅰ	65
	成人看護学実習Ⅱ	65
	老年看護学実習	65
4	小児看護学実習	67
	母性看護学実習	67
	精神看護学実習	67
	在宅看護学実習	67
	統合実践看護学実習	67
	公衆衛生看護学実習Ⅰ*	15
	公衆衛生看護学実習Ⅱ*	15

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、代替措置を適用した件数を含む。

\*保健師課程履修者のみ

# I 国家試験合格率

2022年度

### 国家試験合格者

資格名	実施回	受験者数		合格者数		合格率		全国平均
		通学課程	通信教育課程	通学課程	通信教育課程	通学課程	通信教育課程	
社会福祉士	第35回	136	25	99	12	72.8%	48.0%	44.2%
精神保健福祉士	第25回	21	10	21	7	100.0%	70.0%	71.1%
公認心理師	第5回	7	-	6	-	85.7%	-	48.3%
理学療法士	第58回	41	-	40	-	97.6%	-	87.4%
作業療法士	第58回	38	-	34	-	89.5%	-	83.8%
看護師	第112回	67	-	67	-	100.0%	-	90.8%
保健師	第109回	15	-	15	-	100.0%	-	93.7%

# I 宗教情操行事

2022年度

## 宗教情操行事

時期	日程	行事名	会場	参加人数等
随時	通学課程授業開講期間 春学期・秋学期	朝の宗教行事	礼拝堂（水谷幸正記念館）	-
随時	通学課程開講期間中の毎月25日前後	法然上人御聖日行事	礼拝堂（水谷幸正記念館）	-
4月	5日	新入生祖山（知恩院）参拝	浄土宗総本山知恩院	716名
	8日	花まつり（釈尊降誕会）	礼拝堂（水谷幸正記念館）前	-
5月	15日	還愚の会（春の寺院参拝）	三十三間堂 京都国立博物館	16名
7月	4日	仏陀庵（ぶつだあん）・腕輪念珠作り	礼拝堂（水谷幸正記念館）	約200名
9月	9日～11日	授戒会	礼拝堂（水谷幸正記念館）	17名
10月	16日	還愚の会（秋の寺院参拝）	鈴虫寺 西山浄土宗総本山光明寺	24名
11月	3日～5日	宗教教育センター作品展 ＊応募作品18点	礼拝堂（水谷幸正記念館）	-
12月	8日	釈尊成道会	礼拝堂（水谷幸正記念館）	25名
1月	25日	法然上人御忌会・腕輪念珠作り	礼拝堂（水谷幸正記念館）	10名
	26日	釈尊涅槃会・腕輪念珠作り	二条キャンパス	46名

# 国際交流

2023年5月1日現在

## 学術交流協定等

交流先	国・地域	内容	協定等年月日
圓光大学校	韓国	教員・研究者の交流（研究教授・講義教授） 学生の交流（学部生・大学院生） 学術交流 出版物交換	1973年5月13日
東國大学校	韓国	教員・研究者の交流 学生の交流（学部生・大学院生） 学術交流 出版物交換	1984年5月18日（合議書）
西北大学	中国	教員・研究者の交流 学生の交流（学部生・大学院生） 学術資料の交換 学術交流	1987年3月17日
江南大学校	韓国	教員・研究者の交流 学生の交流（学部生・大学院生） 学術交流 出版物交換	1987年6月30日
東海大学	台湾	教員・研究者の交流 学生の交流（学部生・大学院生） 学術会議交流 出版物交換	1989年3月24日
浄覚佛教研究所	台湾	学術交流 研究者の交流 出版物交換	1989年10月11日（覚書）
中華佛学研究所	台湾	学術交流 研究者の交流 出版物交換	1989年10月15日（合意書）
中央僧伽大学校	韓国	教員・研究者の交流 学生の交流（学部生・大学院生） 学術交流 出版物交換	1993年10月18日
中国佛教文化研究所	中国	研究者の交流 学術交流 出版物交換	1995年5月29日
ホーチミン市 外国語情報技術大学 (HUFLIT)	ベトナム	教員・研究者の交流 学生の交流（学部生・大学院生） 学術会議交流 出版物交換	2000年4月25日
ハワイ大学マノア校	アメリカ	学生の交流（学部生・大学院生） 教職員の交換・交流 学術交流 出版物交換 学生の特別プログラム（実習を含む）	2000年6月5日
慈濟大学	台湾	教員・研究者の交流 学生の交流 学術会議交流 学術資料の交換	2001年10月2日
ザナバザル仏教大学	モンゴル	教員・研究者の交流 学生の交流（学部生・大学院生） 学術会議交流 学術資料の交換	2003年7月21日
吉林大学	中国	教員・研究者の交流 学生の交流（学部生・大学院生） 学術資料の交換 学術交流	2006年6月19日（覚書）
カレッジ・オブ・ザ・ デザート	アメリカ	学生の教育交流	2008年3月19日（覚書）
ディーキン大学	オーストラリア	教員・研究者の交流 学生の交流（学部生・大学院生） 学術交流 学術資料の交換	2009年2月11日（覚書）
中国社会科学院 文学研究所	中国	共同研究 学術シンポジウムの開催 学生の交流 研究者の交流 出版物交換	2016年11月1日
北京語言大学	中国	教員・研究者の交流 学生の交流（学部生・大学院生） 学術資料の交換 共同研究・国際会議等の開催	2017年11月1日
ホーチミン テクノロジー大学	ベトナム	学生の交流（短期交換留学・語学研修）	2020年3月12日
ビクトリア大学	カナダ	教員・職員・学生の英語教育の促進 文化活動 研究資料の交換	2019年8月6日（覚書）
バンクーバー アイランド大学	カナダ	教員・職員の就学、交換 学生の就学 共同研究 客員教授受入れ 出版物交換	2019年8月8日
ベルビューカレッジ	アメリカ	交換留学 出版物交換 相互合意に基づいた学術的交流	2019年8月12日
ヴィクトリア大学 ウェリントン	ニュージーランド	教員・研究者の交流 学生（学部生・大学院生）の交流 共同研究 出版物交換 英語研修（留学）プログラム	2020年1月15日
ボンド大学	オーストラリア	英語研修プログラム（長期・短期） 研修旅行 留学プログラム その他	2020年3月17日（覚書）
マルタ大学	マルタ	長期・短期の英語研修プログラム 1セメスターの留学プログラム	2021年5月12日
カンタベリー大学	ニュージーランド	短期の英語研修プログラム等 継続的な協力関係	2021年8月15日
エドモンズカレッジ	アメリカ	学生の交流 言語と文化のプログラム、共同研究及び研究集会 学術上の情報・刊行物及び資料の交換、両当事者が合意するその他 の活動	2021年9月29日
レイクヘッド大学	カナダ	短期の英語研修プログラム等	2022年3月9日（覚書）
ナイアガラカレッジ	カナダ	研究、教育、研究を目的とした教職員及び学生の訪問及び交流 共同研究やセミナー・講演会等の共同イニシアティブ、客員研究員 共通の関心を有する情報、出版物及びその他の資料を交換すること	2022年7月5日（覚書）
ウィニペグ大学	カナダ	研究、教育、研究を目的とした教職員及び学生の訪問及び交流 共同研究やセミナー・講演会等の共同イニシアティブ、客員研究員 共通の関心を有する情報、出版物及びその他の資料を交換すること	2022年7月5日（覚書）
ロイヤルメルボルン 工科大学	オーストラリア	短期および長期英語プログラムの実施	2023年3月6日（覚書）



## 短期海外語学研修

2022年度

語種	研修先	所在地	期間	人数
朝鮮語	東國大学校*	韓国 ソウル市	2022年8月8日～8月12日	7
英語	ディーキン大学	オーストラリア ヴィクトリア州	2023年2月11日～3月20日	16
	カレッジ・オブ・ザ・デザート	アメリカ カリフォルニア州	2023年3月4日～3月25日	7

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、オンラインにて実施。

## 短期交換留学・派遣留学・学部留学プログラム

### ①短期交換留学（受入）

2022年度

期	国・地域	出身大学	所在地	人数	期間等
春学期	韓国	圓光大学校*	益山市	-	2022年4月1日～2023年3月31日
		東國大学校*	ソウル市	-	
	ベトナム	ホーチミン市外国語情報技術大学*	ホーチミン市	-	
秋学期	韓国	江南大学校	龍仁市	1	2022年9月20日～2023年9月19日
	台湾	慈済大学	花蓮市	0	
		東海大学	台中市	1	
	中国	西北大学	西安市	0	

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止。

### ②短期交換留学（派遣）

期	国・地域	留学先	所在地	人数	期間等
春学期	中国	西北大学*	西安市	-	2022年4月1日～2023年3月31日
		圓光大学校*	益山市	-	
	韓国	東國大学校*	ソウル市	-	
		江南大学校*	龍仁市	-	
秋学期	台湾	東海大学*	台中市	-	2022年9月20日～2023年9月19日
		慈済大学*	花蓮市	-	
	ベトナム	ホーチミン市外国語情報技術大学*	ホーチミン市	-	

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止。

### ③派遣留学

国・地域	留学先	所在地	人数	期間等
アメリカ	カレッジ・オブ・ザ・デザート	カリフォルニア州パームデザート	3	2022年9月20日～2023年9月19日

### ④学部留学プログラム

	国・地域	留学先	所在地	人数	期間等
中国学科	中国	吉林大学*	吉林省长春市	春学期：10	2022年4月4日～2022年7月15日
				秋学期：14	2022年9月13日～2022年12月30日
英米学科	アメリカ	カレッジ・オブ・ザ・デザート	カリフォルニア州 パームデザート	秋学期：10	2022年8月15日～2022年12月20日
	オーストラリア	ディーキン大学*	ヴィクトリア州 メルボルン	秋学期：5	2022年9月26日～2022年12月9日
		ロイヤルメルボルン工科大学*	ヴィクトリア州 メルボルン	秋学期：17	2022年10月3日～2022年12月9日
		グリフィス大学*	クイーンズランド州 ブリスベン	秋学期：16	2022年10月10日～2022年12月16日
ニュージーランド	オタゴ大学*	ダニーデン	秋学期：25	2022年10月17日～2022年12月16日	

※新型コロナウイルス感染拡大の影響によりオンラインにて実施。

## 留学生受入れ数

2023年5月1日現在

区分	学部												大学院						研究員		研究生		科目履修生		別科		合計				
	1年		2年		3年		4年		計		修士		博士		計		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計		
中国	1	0	1	2	3	0	7	1	12	3	15	3	1	2	3	5	4	9	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	18	7	25
韓国	0	1	0	0	0	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	3	4		
ベトナム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	2		
台湾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1		
香港	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1		
計	1	1	1	2	4	1	7	1	13	5	18	3	2	2	3	5	5	10	0	0	1	0	1	3	0	0	20	13	33		

※在留資格が「留学」の在籍者集計

# 社会連携

## ■地域社会との連携

### 【京都市北区内4大学・京都市北区役所・京都市北消防署・京都府北警察署】

#### 《協定内容》

京都市北区における大学・地域包括連携協定(2012年7月19日)

2022年度

主な事業	内 容
地域社会活動への参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>●北区学生×地域応援団プロジェクト会議</li> <li>●北区「WA(わ)のこころ」創生ネットワーク会議</li> <li>●「みんなでつくる安心安全なまち北区推進協議会」</li> <li>●北区民ふれあいまつり</li> </ul>
地域との連携事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自転車安全利用啓発活動</li> </ul>

### 【京都市中京区役所】

#### 《協定内容》

地域連携・協力に関する協定(2011年12月21日)

京都市中京区災害ボランティアセンター設置に関する協定(2012年3月23日)

2022年度

主な事業	内 容
地域社会活動への参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「世界一安心安全・おもてなしのまち京都市民ぐるみ推進運動」中京区推進協議会</li> <li>●中京区防災会議</li> <li>●二条駅地域安全ネットワーク会議</li> <li>●中京区推進協議会・中京区民ふれあい事業実行委員会</li> <li>●二条城周辺地域活性化協議会</li> <li>●中京区民ふれあいまつり</li> <li>●中京区防災訓練</li> </ul>
地域との連携事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●二条駅かいわいまちづくり実行委員会</li> <li>●二条駅かいわい土曜マルシェ</li> </ul>

### 【京都府南丹市】

#### 《協定内容》

地域発展と人材育成に関する協定(2006年11月22日)

2022年度

主な事業	内 容
モデルフォレスト運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>●三共精機株式会社・地域住民・行政と連携し、美山町宮脇地区での森林保全活動</li> </ul>

### 【北野商店街振興組合(京都市上京区)】

#### 《協定内容》

地域発展と人材育成に関する協定(2004年11月1日)

2022年度

主な事業	内 容
北野商店街振興組合との活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>●北野まちづくり協議会</li> <li>●きたの夏まつり</li> </ul>

## 社会連携センタープロジェクト等

2022年度

主な事業	内 容
学生消防防災サークル 「佛教大学FAST」	●京都府や京都市と連携しながら、地域の防災訓練・防災イベントの参加などを行う。 ＜防火パトロール＞ 京都市では毎月5日と20日を「無火災推進日」と制定し、地域の消防団では火災予防の巡回広報を実施している。楽只消防分団の巡回に、佛教大学FASTが参加する。
大学発進(信)プロジェクト	●RADIO MIX KYOTO FM87.0は、2016年5月に「大学と地域の連携」をテーマとして開局されたコミュニティラジオである。そのラジオを使用し、本学有志学生が「ぶつ☆ラジ!」という番組の放送を実施している。
鷹峯地域活性化プロジェクト	●鷹峯地域で、川の清掃による環境保全や農業体験などを行う。
防犯啓発・立ち直り支援プロジェクト	●京都府北警察署と連携して、市内の小学校や児童館での交通安全教室、中学校でのサイバー犯罪防止講演活動に取り組んでいる。
SDGs（持続可能な開発目標）推進プロジェクト	●佛教大学オリジナルSDGs/バッジおよびリーフレットを制作・配布 2022年度配布数：1448個
知ってる？パラスポーツの魅力 ～Do You Know the Power of Paraspports?～	●パラスポーツを通して共生社会を考える活動に取り組む。二条キャンパス周辺の公園で地域の方とモルックやポッチャを通じた交流や、ツインバスケットボールの体験会などを通してパラスポーツの魅力を広めている。
学生企画 まちづくりプロジェクト	●学生が地域と協働して主体的にまちづくりを企画・推進することを目的に、学生から企画案を募集し、支援する。（上限5万円を補助） ●採択件数：6件
浄土宗宗門関係大学報告会	●浄土宗宗門関係大学（佛教大学、京都華頂大学・華頂短期大学、京都文教大学・京都文教短期大学、東海学園大学）と浄土宗が1年間の社会連携活動・社会貢献活動の報告会を開催し、交流をはかる。

## ボランティア

2022年度

主な事業	内 容
社会連携センター 学生ボランティア室	●2012年度より有志の学生と教職員で運営。 ●「大学が学生のボランティア活動を推進する場」として、有志の学生スタッフと教職員でボランティアに関する情報を学生に提供。ボランティアを必要としている方とボランティア活動を希望する学生とをつなぐなど、学生のボランティア活動を推進・支援する。 ●登録団体数：61団体、情報受付数：195件
ボランティア支援金制度	●学生が取り組むボランティア活動に対して支援を行っている。（上限5万円を補助） ●採択件数：0件
義援金等募金活動	●ウクライナ人道支援企画 学内フリーマーケットや学内店舗のオリジナルメニュー販売により寄せられた総額483,489円を日本赤十字社京都府支部に寄付。 ●赤い羽根共同募金 四条河原町における街頭募金に参加協力。

# 課外活動

## 課外活動団体

2023年5月1日現在

学友会機関	体育会本部所属団体	無所属公認団体(文化系)	無所属公認団体(体育系)
代議員会 中央執行委員会 会計監査委員会 選挙管理委員会	硬式野球部 空手道部 弓道部 バドミントン部 剣道部 柔道部 山岳部(休部中) ワンダーフォーゲル部 スキー部 太道部 少林寺拳法部 サッカー部 ソフトテニス部 合気道部 アメリカンフットボール部 バレーボール部 バスケットボール部 ラグビーフットボール部 陸上競技部 卓球部 硬式庭球部 ハンドボール部 ボウリング部 アイススケート部 軟式野球部 ラクロス部	民俗学研究会 京都散策会「Smile」 Music Freedom Crea わんぱくグループ「どろんこ」 レクリエーション研究会 スポーツ研究会「Mint Club」 クッキングパーティー BBS会 よさこいサークル 紫踊屋 ジンガーソングライター クリエイターサークル 青春部 競技かるた部 お笑いサークル -SHOWCASE- 教職サークルMIYABI 企業サークル「Jobhunt」	ソフトボール愛好会 水泳愛好会「スイート・メモリーズ」 バレーボール愛好会 鷹陵倶楽部 テニスサークル SPLASH バドミントン愛好会 バスケット同好会 BREAK THROUGH 軟式野球同好会 WILD BOYS ソフトテニスサークルピーター ラグビー同好会 GUARDIANS プロレス・格闘技研究会 ベタソウ同好会「Honens」 Dance Company 釈迦力 Ultimate会 ダブルタッチサークル 佛跳 スポーツチャンバラサークル フットサルサークル -freiheit-
代議員特別委員会			
鷹陵祭実行委員会 紫櫻祭実行委員会 アルバム委員会(休会中) 生協設立準備委員会(休会中)			
文化会本部所属団体	応援団本部所属団体		
傳道部 児童教化研究部 書道部 混声合唱団 茶道部 華道部 写真研究会 軽音楽部 アマチュア無線クラブ ボランティア研究会 学生歴史学研究会 美術部 映画部 フォークソング部 箏曲部 点訳サークル(休部中) 手話サークル「なまけもの」 劇団「紫」 漫画研究会 ユネスコ研究会 ジャズ倶楽部 文芸部 雅楽会	応援団 吹奏楽部 チアリーダー部		
	報道本部所属団体		
	新聞局 放送局		

## 課外活動表彰

2022年度

賞名	団体名	部門等	氏名	内容
課外活動奨励賞(個人)	剣道部	男子個人	神崎竜之介	第70回全日本学生剣道選手権大会 出場 (第70回関西学生剣道選手権大会 ベスト16に入り出場)
		女子個人	下山 真由 山本 幸来	全日本仏教系大学剣道大会 3位入賞 第64回京滋学生剣道大会 2位入賞
	卓球部	男子シングルス	藤木 直大 坪田 章秀	第88回全日本大学総合卓球選手権大会 出場 第2回関西学生卓球チャレンジマッチ 優勝
		女子ダブルス	伊須田 遥 遠山 雅	第55回会長杯争奪大会 3位入賞
	ボウリング部	女子2人チーム戦	野呂詩友璃	第61回関西学生ボウリング選手権大会 優勝
	陸上競技部	男子1500m	櫻井 晃平	天皇賜盃第91回日本学生陸上競技対校選手権大会 出場
課外活動奨励賞(団体)	少林寺拳法部	組演武 大学生男子の部	北畑 琉斗 近藤 豊嗣	2022年少林寺拳法全国大会 in OSAKA 出場
	剣道部	男子団体	-	第70回関西学生剣道優勝大会 ベスト8 第70回全日本学生剣道優勝大会 出場 第64回京滋学生剣道大会 3位入賞
	空手道部	男子団体 女子団体	-	第63回全関西大学空手道選手権大会 男子：ベスト4 女子：全国大会出場決定戦勝利
	バスケットボール部 弓道部	団体 男子団体	-	2022年度関西女子学生バスケットボールリーグ戦 4部優勝・3部昇格 京都学生弓道選手権大会 準優勝
個人活動奨励賞	女子パラアイスホッケー		藤原 芽花	2022 World Para Ice Hockey Women's World Challenge 3位入賞
		漢字部門	前川留理子	本格の輝き第38回読売書法展 入選 第27回全日本高校・大学生書道展-学生書道のグランプリ- 優秀賞
	一般 読書・献書			弘法大師奉賛 第五十六回高野山競書大会 高野山管長賞
	ボランティア		山田 悠仁 荒岡 彪雅 大坪みらい	国立青少年教育振興機構法人のボランティアとして、4年間にわたり、国立乗鞍青少年交流の家にて、子どもを対象とした自然体験活動・宿泊活動の企画・立案、運営に貢献。 国立青少年教育振興機構法人のボランティアとして、4年間にわたり、国立若狭湾青少年交流の家にて、子どもを対象とした自然体験活動・宿泊活動の企画・立案、運営に貢献。

## 強化指定スポーツ 主な活動成績

2022年度

### ◆硬式野球部

- ・2022年度 京滋大学野球連盟 春季リーグ 優勝(10勝1敗)
- ・第71回 全日本大学野球選手権大会 ベスト4
- ・2022年度 京滋大学野球連盟 秋季リーグ 2位(8勝3分)

### ◆陸上競技部 女子中長距離部門

- ・第40回全日本大学女子駅伝対校選手権大会 15位(2時間12分06秒)
- ・2022全日本大学女子選抜駅伝競走 21位(2時間33分02秒)

# 奨学金

2022年度

## 佛教大学独自・関係外郭団体等の給付型奨学金制度

名称	種別	給付額(年額)	支援団体区分	採用者数(2022年度)	
佛教大学奨学金	推薦制	300,000円	佛教大学	17名	
佛教大学大学院奨学金		半期学費相当額		26名	
佛教大学障がい学生奨学金		300,000円		3名	
入学試験成績優秀者奨学金		半期学費相当額		7名	
浄土宗総本山知恩院奨学金		50,000円	関係外郭団体	5名	
浄土宗大本山奨学金(黒谷金戒光明寺)		100,000円		2名	
浄土宗大本山奨学金(清浄華院)				2名	
浄土宗大本山奨学金(百万遍知恩寺)				2名	
浄土宗宗立宗門校奨学金		100,000円		5名	
学者育成奨学金*		300,000円		-	
特定分野研究助成金(雲井・渡辺奨学金)		500,000円	佛教大学	4名	
佛教大学大学院通信教育課程奨学金	210,000円	7名			
	(臨床心理学専攻のみ) 315,000円	3名			
佛教大学育英奨学金	公募制	300,000円	佛教大学	23名	
佛教大学課外活動奨学金		300,000円		1名	
佛教大学教育後援会育英奨学金1種		100,000円	関係外郭団体	9名	
佛教大学教育後援会育英奨学金2種		200,000円		41名	
佛教大学同窓会奨学金		100,000円		20名	
佛教大学教職員互助会奨学金		通学課程 半期授業料相当額		9名	
		通信教育課程 145,000円		1名	
浄土宗寺院子弟奨学金		50,000円~150,000円		2名	
浄土宗課外活動助成金		20,000円~300,000円		2名	
佛教大学通信教育課程奨学金		70,000円		佛教大学	33名
佛教大学生外国留学奨学金			学部・大学院 240,000円	佛教大学	学部 3名 大学院 0名
佛教大学外国人留学生特別奨学金			学部・大学院 576,000円		学部 4名 大学院 4名
佛教大学外国人留学生新入生特別奨学金			学部・大学院 288,000円		学部 2名 大学院 2名
佛教大学私費外国人留学生奨学一時金			学部・大学院 200,000円		学部 2名 大学院 3名

※制度見直しのため募集なし

- 佛教大学奨学金……………学業成績が非常に優秀な学生に授与。2年生以上の学生が対象。
- 入学試験成績優秀者奨学金……………一般選抜(A日程)において総合得点率が80%以上の合格者で、各学部合格者の上位3%以内の入学者が対象。学年進級時に成績基準を満たせば最長4年間の給付が可能。
- 学者育成奨学金……………浄土宗教師資格取得者で、浄土学・仏教学・仏教文化を研究する学生が対象。
- 佛教大学育英奨学金……………経済的支援を必要としながら、授業に積極的に取り組んで優秀な成績を修めている2年生以上の学生が対象。
- 佛教大学課外活動奨学金……………文化活動やスポーツ活動において国際的または全国的なレベルで活躍した者、他の学生の模範になる社会的貢献や社会奉仕活動を行い、佛教大学の榮譽を高めた者が対象。
- 佛教大学教育後援会育英奨学金……………学生たちの保護者会である教育後援会が経済的支援を目的として設けている奨学金制度。
- 佛教大学同窓会奨学金……………同窓会が設けた奨学金制度。経済的理由により学業の継続が困難な学生が対象。
- 佛教大学生外国留学奨学金……………短期交換留学・派遣留学に選抜された者が対象。
- 佛教大学外国人留学生特別奨学金……………学業成績が優秀な私費留学生で、本奨学金を超える他の奨学金を受給していない者が対象(当該年度の新入生および編入生は除く)。
- 佛教大学外国人留学生新入生特別奨学金……………当該年度の新入生(編入生含む)であり、学業成績が優秀な私費留学生で、他の奨学金を受給していない者が対象。支給期間は採用年度10月~3月(6ヶ月)。
- 佛教大学私費外国人留学生奨学一時金……………学業成績が優秀な私費留学生が対象(当該年度の新入生および編入生は除く)。

### 「高等教育の修学支援制度」による授業料減免

通学課程は767名、通信教育課程は32名に減免を実施。

### 新型コロナウイルス感染拡大に伴う奨学金等

#### 新型コロナウイルス対策緊急奨学金

名称	種別	給付額（年額）	支援団体区分	採用者数 (2022年度)
新型コロナウイルス対策緊急奨学金	公募制	通学課程 半期授業料相当額	関係外郭団体	42名
		通信教育課程 年間授業料1/2相当額 (上限10万円)		2名

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、家計状況の急変のために学資支弁に不測の事態が生じ、経済的に著しく修学困難な在学生（学部・大学院・別科）に対する給付型の緊急奨学金。

### 日本学生支援機構（JASSO）の奨学金制度

#### 通学課程

名称		種別		貸与額（月額／選択）		採用者数
日本学生支援 機構奨学金	学部	第一種 奨学金	無利子／貸与	自宅通学者	20,000円／30,000円／40,000円／54,000円	954名
			無利子／貸与	自宅外通学者	20,000円／30,000円／40,000円／50,000円／64,000円	291名
		第二種 奨学金	有利子／貸与		20,000円～120,000円（10,000円単位で選択）	1,582名
		給付 奨学金	給付／ 第Ⅰ区分	自宅通学者	38,300円（生活保護を受けている生計維持者と同居している人） 及び児童養護施設等から通学する人：42,500円	810名
				自宅外通学者	75,800円	
			給付／ 第Ⅱ区分	自宅通学者	25,600円（生活保護を受けている生計維持者と同居している人） 及び児童養護施設等から通学する人：28,400円	
	自宅外通学者			50,600円		
	給付／ 第Ⅲ区分	自宅通学者	12,800円（生活保護を受けている生計維持者と同居している人） 及び児童養護施設等から通学する人：14,200円			
		自宅外通学者	25,300円			
	大学院	第一種 奨学金	修士	無利子／貸与	50,000円／88,000円	13名
博士後期			無利子／貸与	80,000円／122,000円		
第二種 奨学金		有利子／貸与		50,000円／80,000円／100,000円／130,000円／150,000円	3名	

#### 通信教育課程

名称		種別	貸与額（選択）	採用者数	
日本学生支援 機構奨学金	学部 (本科)	第一種奨学金*	無利子／貸与	88,000円	7名
		第二種奨学金*	有利子／貸与	20,000円から120,000円の範囲で 10,000円単位で選択可	8名
		給付奨学金	第Ⅰ区分 51,000円／第Ⅱ区分 34,000円／第Ⅲ区分 17,000円		35名

※面接授業を受講する年度について一回

# 学費

2023年度

## 通学課程

### 学部

学部・別科	入学金※	学費			諸費			合計		
		授業料		設備費	教育後援会費※	学友会入会金※	学友会費	新入生	在学生	
		新入生	在学生					年間必要額	年間必要額	
2020年度以降 入学生適用	200,000	仏教学部 文学部 歴史学部 社会学部 社会福祉学部	(1期) 435,000 (2期) 435,000	(1期) 455,000 (2期) 455,000	(1期) 100,000 (2期) 100,000	20,000	1,000	4,500	1,295,500	1,114,500
		教育学部	(1期) 460,000 (2期) 460,000	(1期) 480,000 (2期) 480,000	(1期) 100,000 (2期) 100,000					
	200,000	保健医療技術学部	(1期) 675,000 (2期) 675,000	(1期) 695,000 (2期) 695,000	(1期) 200,000 (2期) 200,000	20,000	1,000	4,500	1,975,500	1,794,500
		別科（仏教専修）	(1期) 174,000 (2期) 174,000	(1期) 174,000 (2期) 174,000	(1期) 52,500 (2期) 52,500					
2019年度以前 入学生適用	-	仏教学部 文学部 歴史学部 社会学部 社会福祉学部	-	(1期) 450,000 (2期) 450,000	(1期) 100,000 (2期) 100,000	-	-	4,500	-	1,104,500
		教育学部	-	(1期) 475,000 (2期) 475,000	(1期) 100,000 (2期) 100,000					
	-	保健医療技術学部	-	(1期) 690,000 (2期) 690,000	(1期) 200,000 (2期) 200,000	-	-	4,500	-	1,784,500
		別科（仏教専修）	-	(1期) 174,000 (2期) 174,000	(1期) 52,500 (2期) 52,500					

※印は入学初年度のみ

### 大学院

大学院（修士・博士共通）	入学金※	学費		合計		
		授業料	設備費	新入生	在学生	
				年間必要額	年間必要額	
2020年度以降 入学生適用	200,000	文学研究科 教育学研究科 （生涯教育専攻） 社会学研究科 社会福祉学研究科	(1期) 262,500 (2期) 262,500	(1期) 50,000 (2期) 50,000	825,000	625,000
		教育学研究科 （臨床心理学専攻）	(1期) 360,000 (2期) 360,000	(1期) 100,000 (2期) 100,000	1,120,000	920,000
2015年度～ 2019年度 入学生適用	-	文学研究科 教育学研究科 （生涯教育専攻） 社会学研究科 社会福祉学研究科	(1期) 262,500 (2期) 262,500	(1期) 50,000 (2期) 50,000	-	625,000
		教育学研究科 （臨床心理学専攻）	(1期) 360,000 (2期) 360,000	(1期) 100,000 (2期) 100,000	-	920,000
2014年度以前 入学生適用	-	文学研究科 教育学研究科 （生涯教育専攻） 社会学研究科 社会福祉学研究科	(1期) 264,000 (2期) 264,000	(1期) 50,000 (2期) 50,000	-	628,000
		教育学研究科 （臨床心理学専攻）	(1期) 365,000 (2期) 365,000	(1期) 100,000 (2期) 100,000	-	930,000

※印は入学初年度のみ

## 通信教育課程

### 学部

(単位：円)

区分		入学諸経費	学費(含学友会費)※	合計	
				新入生	在学生
学部 (本科)	1年生	30,500	152,500	183,000	-
	2~4年生	55,500		208,000	152,500

※学費にスクーリング経費を含まない

### 大学院

区分		入学諸経費	学費(含学友会費)※	合計	
				新入生	在学生
修士課程	(臨床心理学専攻以外)	53,500	426,500	480,000	426,500
	(臨床心理学専攻)		636,500	690,000	636,500
博士後期課程			426,500	480,000	426,500

※学費にスクーリング経費を含む

次年度の学費については、毎年秋に決定します。



# 財務状況

2022年度

## 2022年度 佛教学大学・佛教学大学附属幼稚園 計算書総括表

### 資金収支計算書 (2022年4月1日から2023年3月31日まで)

当該会計年度の諸活動すべての収入および支出のてん末を明らかにするためのものです。

(単位：円)

収入の部	
科目	決算
学生生徒等納付金収入	8,914,932,914
手数料収入	453,816,488
寄付金収入	221,861,380
補助金収入	1,307,661,717
付随事業・収益事業収入	63,060,372
受取利息・配当金収入	1,685,644
雑収入	309,314,100
前受金収入	1,780,956,500
その他の収入	408,814,616
資金収入調整勘定	△ 1,907,637,246
前年度繰越支払資金	4,335,208,338
<b>収入の部合計</b>	<b>15,889,674,823</b>

支出の部	
科目	決算
人件費支出	5,804,255,831
教育研究経費支出	2,974,885,105
管理経費支出	697,257,089
借入金等利息支出	22,177,016
借入金等返済支出	397,370,000
施設関係支出	332,835,273
設備関係支出	184,977,662
資産運用支出	1,000,000,000
その他の支出	610,405,491
資金支出調整勘定	△ 157,774,141
翌年度繰越支払資金	4,023,285,497
<b>支出の部合計</b>	<b>15,889,674,823</b>

### 活動区分資金収支計算書 (2022年4月1日から2023年3月31日まで)

資金収支を教育活動・施設整備等活動・その他活動の3つの区分に分けて、資金の流れを表すためのものです。

(単位：円)

		科目	決算
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	8,914,932,914
		手数料収入	453,816,488
		寄付金収入	125,299,137
		経常費等補助金収入	1,297,009,717
		付随事業収入	63,060,372
		雑収入	306,255,508
		<b>教育活動資金収入計</b>	<b>11,160,374,136</b>
	支出	人件費支出	5,804,255,831
		教育研究経費支出	2,974,885,105
		管理経費支出	697,257,089
<b>教育活動資金支出計</b>		<b>9,476,398,025</b>	
		差引	1,683,976,111
		調整勘定等	170,001,996
		<b>教育活動資金収支差額</b>	<b>1,853,978,107</b>
施設整備等活動による資金収支	収入	施設設備寄付金収入	96,562,243
		施設設備補助金収入	10,652,000
		第2号基本金引当特定資産取崩収入	300,000,000
		<b>施設整備等活動資金収入計</b>	<b>407,214,243</b>
	支出	施設関係支出	332,835,273
		設備関係支出	184,977,662
		第2号基本金引当特定資産繰入支出	600,000,000
		減価償却引当特定資産繰入支出	200,000,000
		<b>施設整備等活動資金支出計</b>	<b>1,317,812,935</b>
		差引	△ 910,598,692
		調整勘定等	△ 77,713,488
		<b>施設整備等活動資金収支差額</b>	<b>△ 988,312,180</b>
		<b>小計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)</b>	<b>865,665,927</b>

		科目	決算
その他の活動による資金収支	収入	学術振興基金引当特定資産取崩収入	5,169,686
		奨学費支出引当特定資産取崩収入	21,314,800
		貸付金回収収入	100,000
		仮払金回収収入	1,406,123
		その他流動資産回収収入	△ 576,441,655
		預り金受入収入	364,617,867
		<b>小計</b>	<b>△ 183,833,179</b>
	支出	受取利息・配当金収入	1,685,644
		その他の活動による資金収入	3,058,592
		<b>その他の活動資金収入計</b>	<b>△ 179,088,943</b>
支出	借入金等返済支出	397,370,000	
	退職給与引当特定資産繰入支出	100,000,000	
	教育環境整備引当特定資産繰入支出	100,000,000	
	貸付金支払支出	100,000	
	預り金支払支出	378,772,809	
	<b>小計</b>	<b>976,242,809</b>	
		借入金等利息支出	22,177,016
		<b>その他の活動資金支出計</b>	<b>998,419,825</b>
		差引	△ 1,177,508,768
		調整勘定等	0
		<b>その他の活動資金収支差額</b>	<b>△ 1,177,508,768</b>
		<b>支払資金の増減額 (小計+その他の活動資金収支差額)</b>	<b>△ 311,842,841</b>
		<b>前年度繰越支払資金</b>	<b>4,335,208,338</b>
		<b>翌年度繰越支払資金</b>	<b>4,023,285,497</b>

#### 【施設整備等活動による資金収支の部】

- 施設関係支出とは建物、建物付属、構築物等の取得による支出。  
2022年度は5号館空調熱源改修工事、7号館空調熱源改修工事、鹿溪館エレベーター制御改修工事、6号館エレベーター制御改修工事、鹿溪館1階リニューアル工事、鷹陵館メインホール電動ブラインド改修工事、各グラウンドLED照明リニューアル工事等を実施。
- 設備関係支出とは教育研究用機器備品、図書等の取得による支出。  
2022年度は、鹿溪館1階リニューアル什器家具新設工事、北校地防犯カメラ設備更新工事等を実施。

**事業活動収支計算書** (2022年4月1日から2023年3月31日まで)

当該会計年度の諸活動すべての事業活動収入および事業活動支出の均衡の状態を明らかにするためのものです。

(単位：円)

		科目	決算
教育活動収支	事業収入の活動部	学生生徒等納付金	8,914,932,914
		手数料	453,816,488
		寄付金	129,941,715
		経常費等補助金	1,297,009,717
		付随事業収入	63,060,372
		雑収入	346,092,008
		<b>教育活動収入計</b>	<b>11,204,853,214</b>
	事業支出の活動部	人件費	5,911,167,551
教育研究経費		3,887,454,955	
管理経費		854,891,666	
	<b>教育活動支出計</b>	<b>10,653,514,172</b>	
<b>教育活動収支差額</b>		<b>551,339,042</b>	
教育活動外収支	事業収入の活動部	受取利息・配当金	1,685,644
		その他の教育活動外収入	3,058,592
	<b>教育活動外収入計</b>	<b>4,744,236</b>	
	事業支出の活動部	借入金等利息	22,177,016
<b>教育活動外支出計</b>		<b>22,177,016</b>	
<b>教育活動外収支差額</b>		<b>△ 17,432,780</b>	
<b>経常収支差額</b>		<b>533,906,262</b>	

		科目	決算
特別収支	事業収入の活動部	その他の特別収入	116,765,712
		施設設備寄付金	96,562,243
		現物寄付	9,551,469
		施設設備補助金	10,652,000
		<b>特別収入計</b>	<b>116,765,712</b>
	事業支出の活動部	資産処分差額	52,768,114
	<b>特別支出計</b>	<b>52,768,114</b>	
<b>特別収支差額</b>		<b>63,997,598</b>	
<b>基本金組入前当年度収支差額</b>		<b>597,903,860</b>	
<b>基本金組入額合計</b>		<b>△ 1,148,961,298</b>	
<b>当年度収支差額</b>		<b>△ 551,057,438</b>	
<b>前年度繰越収支差額</b>		<b>△ 11,528,375,342</b>	
<b>翌年度繰越収支差額</b>		<b>△ 12,079,432,780</b>	
(参考)			
事業活動収入計		11,326,363,162	
事業活動支出計		10,728,459,302	

**【教育活動収支の部】**

<部門比率>

- ・学生生徒等納付金に占める各部門の割合は、通学課程84.5% 通信教育課程14.5% 幼稚園1.0%。
- ・手数料に占める各部門の割合は、通学課程72.3% 通信教育課程27.7%。

<構成比率>

- ・学生生徒等納付金が事業活動収入全体に占める割合は78.7% (昨年度は79.8%)。
- ・手数料が事業活動収入全体に占める割合は4.0% (昨年度は4.8%)。
- ・人件費が事業活動支出全体に占める割合は55.1% (昨年度は55.0%)。
- ・教育研究経費が事業活動支出全体に占める割合は36.2% (昨年度は35.3%)。

<その他>

- ・寄付金は、一般寄付金と浄土宗からの補助金、佛教大学未来支援寄付金の奨学金寄付金と課外活動寄付金。
- ・経常費等補助金は、国・地方公共団体等の交付金。

**【特別収支の部】**

- ・施設設備寄付金は、通学校友会、通信校友会、教職員互助会および佛教大学未来支援寄付金の施設設備寄付金。
- ・施設設備補助金は私立学校施設整備費補助金(私立学校教育研究装置等施設整備費(私立大学・大学院等教育研究装置施設整備費))黒谷道場耐震補強工事、京都府教育支援体制整備事業費補助金(省エネ推進緊急対策事業) 附属幼稚園空調整備改修工事。
- ・基本金組入額は、教育施設拡充引当特定資産の組入のほか、教育研究用・管理用機器備品、図書等の購入を含む。

**学校法人佛教教育学園 貸借対照表** (2023年3月31日)

当該年度末の資産、負債、正味財産の状態を表すものです。

(単位：円)

資産の部		
科目		本年度末
固定資産		112,299,431,073
有形固定資産		82,381,850,039
土地		44,349,446,156
建物・構築物		29,982,232,375
教育研究用機器備品		1,380,523,280
管理用機器備品		207,798,820
図書		6,195,559,607
その他		266,289,801
特定資産		28,618,446,009
第2号基本金引当特定資産		6,723,900,000
第3号基本金引当特定資産		305,920,000
第4号基本金引当特定資産		1,152,000,000
その他		20,436,626,009
その他の固定資産		1,299,135,025
流動資産		9,851,985,928
現金預金		9,403,323,639
その他		448,662,289
<b>資産の部合計</b>		<b>122,151,417,001</b>

負債の部		
科目		本年度末
固定負債		9,826,569,665
長期借入金		3,880,114,000
退職給与引当金		5,759,028,502
長期未払金		187,427,163
流動負債		3,837,120,246
短期借入金		735,006,000
未払金		352,355,133
前受金		2,293,657,600
預り金		456,101,513
<b>負債の部合計</b>		<b>13,663,689,911</b>
純資産の部		
科目		本年度末
基本金		121,503,331,738
第1号基本金		113,321,511,738
第2号基本金		6,723,900,000
第3号基本金		305,920,000
第4号基本金		1,152,000,000
繰越収支差額		△ 13,015,604,648
<b>純資産の部合計</b>		<b>108,487,727,090</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>		<b>122,151,417,001</b>

# 図書館

## 蔵書数

2023年5月1日現在

図書		雑誌	
内国書	885,795冊	内国書	9,576種
外国書	235,484冊	外国書	3,561種
計	1,121,279冊	計	13,137種

## 年間入館者数

2022年度

学部生	大学院生	通信学生	教職員	卒業生	その他	合計
113,980人	2,496人	4,219人	7,809人	1,273人	3,607人	133,384人

## 図書館企画展（図書館1階中央展示ケース）

2022年度

展示月	月例展示名	展示内容
2022年4月～5月	『名所めぐり：あの花 この花』 (前期・後期)	前期は桜、後期は藤をテーマとし、それぞれの花を詠んだ和歌を紹介するとともに、花見に興じる人々や名所として知られる京都の観光地について取り上げる。 【展示資料】 『萬葉集』『新古今和歌集』『後撰和詞集』『花洛細見圖』『都名所百景』等
2022年6月～7月	『祇園祭』 (前期・後期)	長らく「休み山」だった鷹山が200年ぶりに復活するのにあわせ、江戸時代の巡行の様子や、現在は行われなくなった芸妓たちの仮装行列「ねりもの」を紹介。 【展示資料】 『十二月あそび』『祇園會細記』『都林泉名勝圖會』『六月十四日祇園會』『祇園神輿洗ねり物繪巻』等
2022年8月～9月	『ありし日の京』 (前期・後期)	かつての京都では当たり前だった光景を特集。前期では、明治期後半までは灯されていたという送り火の「い」について、後期は江戸時代に建立され、被災と再建を繰り返したのち、昭和43年に焼失した“京の大仏”を取り上げる。 【展示資料】 『京繪圖道法附』『細見京繪圖』『明治京都指掌之圖』『京名所』等
2022年10月～11月	『名所案内周遊ガイド』 (前期・後期)	旅ブームが起こった江戸時代後期、人気を博した旅行案内記を特集。京都ガイド本の嚆矢とされる『京城勝覽』を中心に、当時のモデルコースを資料とともに紹介。 【展示資料】 『京城勝覽』『京童』『京内参り』『都名所道案内』『皇都細見之圖』等
2022年12月～ 2023年1月	『内裏と仙洞御所』 (前期・後期)	天皇と上皇(院)の居住地であった御所と仙洞御所。内部の様子を描いた刊本を展示するとともに、絵図や指図(設計図)の比較により立地の変化をたどる。 【展示資料】 『禁闕内外全圖』『内裏圖』『[禁裏公家屋敷圖]』『仙洞御所二分計色分繪圖』等 ◀関連企画▶Season's greetings! 本学所蔵の貴重書『都名所百景』より雪景色の作品を厳選し、ポストカード図案を作成、ダウンロード配布。
2023年2月～3月	『春を詠む2023 一業平と貫之一』 (前期・後期)	2021年に実施した「春を詠む」展の続編企画。前期では在原業平に焦点をあて、彼の詠んだ春の歌や『伊勢物語』などを、後期では紀貫之について取り上げる。 【展示資料】 『古今和歌集』『伊勢物語改成』『今業平昔面影』『三十六歌仙繪巻』等

## 図書館常設展示貸出（図書館1階入り口展示貸出コーナー）

「カーボンニュートラル～持続可能な社会を目指して」（教育後援会援助により購入）

# 法然仏教学研究センター

## 講演会

2022年度

開催日	開催形式	講師	講題	来場者数
2022年7月2日(土)	オンライン (Zoomウェビナー)	小谷 信千代 (大谷大学名誉教授)	浄土より還来しての衆生救済	115名

# 宗教文化ミュージアム

## ミュージアム資料

2023年5月1日現在

美術工芸品	五趣生死輪図（タンカ）	1点
	山越阿弥陀図（複製）	1点
	乾県章懐太子墓壁画（複製）	3点
	ダンダンウイリク遺跡出土 如来像壁画（模写）	1点
	兵馬俑（複製）	2点
	女子俑（複製）	1点
	その他	5点
考古資料	岸ヶ前古墳出土品	
	衝角付兜及び短甲	1点
	鉄剣及び鉄刀	9点
	碧玉製勾玉	6点
	その他	36点
	壺ノ谷遺跡出土品	
	須恵器類	46点
	その他	5点
	百済寺址資料	
	あわせ鉢	2点
その他	7点	

大学史資料	銅造 法然上人立像（頭光踏蓮の御影）	1点
	小林瑞浄胸像（雛形）	1点
	竹田聰洲資料	
	恵谷隆戒資料	
	森鹿三資料	
	高島寛我資料	
	矢吹慶輝資料	
その他		
古書・歴史資料	樺皮墨書サンスクリット長阿含経	3点
	念持仏（弘法大師、その他）	3点
	その他	1,073点
民俗・民族資料	前川家民俗資料	55点
	社寺護符類資料	441点
	その他	128点

## 刊行物

2022年度

紀要	1点
展示（図録・報告書・パンフレット）	3点
教育研究用 DVD	1点
公演・シンポジウムパンフレット	3点

## 年間入館者数

2022年度

開館日数	入館者数
147 日	3,045 人

## 年間企画

### 展示

2022年度

会期	企画名
2022年6月11日（土）～7月30日（土）	速報展「浄土宗を支えた版木 其ノ壱 一紙嘉・前田嘉右衛門が受け継ぐ」
2022年10月29日（土）～12月10日（土）	特別展「ほとけのドレスコード」
2023年2月18日（土）～3月25日（土）	企画展「中国前近代の貨幣—宮澤知之教授の実物講義—」

### シアター公演／上映会

2022年度

開催日	企画名
2022年12月18日（日）	シアター上映会「六斎念仏の記録映像を見てみよう！」
2023年1月22日（日）	第47回シアター公演「祝福芸 万歳～安城の三河万歳～」

### 講演会／シンポジウム

2022年度

開催日	企画名
2022年11月12日（土）	特別展開連講演会「ほとけの定番コーデとモード」
2023年2月11日（土） ハイブリッド型（会場参加とオンライン参加の併用）	学術シンポジウム「地域に残る写真資料 人文地理学と写真資料」 Part1「地理学的探求の実践と景観写真の活用」
2023年2月25日（土） ハイブリッド型（会場参加とオンライン参加の併用）	学術シンポジウム「地域に残る写真資料 人文地理学と写真資料」 Part2「古写真をめぐる地理学研究」

# I 外部資金

2022年度

## 科学研究費助成事業（科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金）

### 研究代表者

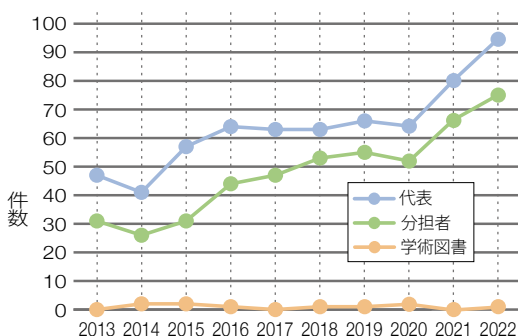
事業	種目	件数	直接経費(円)	間接経費(円)	合計金額(円)
補助金	基盤研究(B)	7	12,600,000	3,780,000	16,380,000
	基盤研究(C)	69	39,600,000	11,880,000	51,480,000
基金	若手研究	13	6,400,000	1,920,000	8,320,000
	研究活動スタート支援	4	5,300,000	1,590,000	6,890,000
補助金	特別研究員奨励費	1	400,000	-	400,000
	学術図書	1	1,900,000	-	1,900,000
	合計	95	66,200,000	19,170,000	85,370,000

金額は、他大学への分担金を含む交付決定額（前倒し支払請求額を含む）を計上。預金口座の利息は含まない。

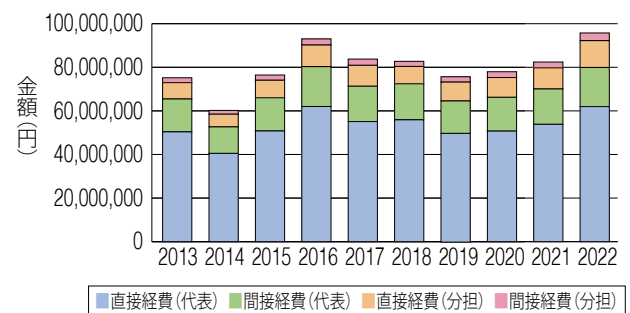
### 研究分担者(他大学等の研究代表者を通じた交付)

事業	種目	件数	直接経費(円)	間接経費(円)	合計金額(円)
補助金	基盤研究(A)	9	1,976,520	592,956	2,569,476
	基盤研究(B)	23	6,192,955	1,605,408	7,798,363
基金	基盤研究(C)	43	4,631,000	1,284,300	5,915,300
	合計	75	12,800,475	3,482,664	16,283,139

### 科学研究費助成事業内定件数推移（2013～2022年度）



### 内定額推移（2013～2022年度）



# I 土地・建物面積

2023年5月1日現在

## 土地の部

■地域別	(単位：㎡)
紫野校地	38,136.43
岩倉校地	53,424.00
広沢校地	19,346.31
原谷校地	6,834.00
園部校地	362,902.35
二条校地	11,539.00
その他校地	9,141.76 (内借地 2,665.96)
合計	501,323.85

■用途別	(単位：㎡)
校舎等敷地	24,827.33
運動場敷地	195,870.47
寄宿舎敷地	3,504.08 (内借地 2,665.96)
研究所敷地	2,250.80
附属子ども園敷地	4,647.68
その他敷地	270,223.49
合計	501,323.85

## 建物の部

■種別	(単位：㎡)
校舎	81,385.88
(1号館)	20,550.54
(5号館)	5,146.56
(6号館)	4,511.71
(7号館)	6,105.50
(8号館)	3,562.85
(10号館)	1,712.82
(11号館)	5,188.51
(12号館)	3,422.21
(15号館)	3,807.46
(図書館)	10,451.91
礼拝堂(水谷幸正記念館)	936.43
(二条キャンパス1号館)	15,989.38

体育館(鷹陵館)	8,059.00
鹿溪館	5,612.03
別館	651.64
福祉教育開発センター(原谷)	1,022.05
宗教文化ミュージアム(広沢)	3,289.77
セミナーハウス「光照」(岩倉)	1,925.95
クラブハウス・セミナーハウス「和順」(園部)	1,440.04
寄宿舎	4,590.99
附属子ども園	2,581.56
その他	3,176.97
合計	113,735.88

■用途別	(単位：㎡)
講義室・演習室	12,979.35
実験・実習室	8,521.26
研究室	6,711.51
図書館	10,910.54
体育施設	4,558.08
共用・管理関係	49,612.67
附置機関・研究所	4,116.64
寄宿舎	4,590.99
附属子ども園	2,581.56
その他	9,153.28
合計	113,735.88

# 同窓会

佛教大学同窓会には、佛教専門学校時代の同窓会を引き継いだ通学課程卒業生による「佛教大学同窓会」と通信教育課程卒業生による「佛教大学鷹陵同窓会」の2つの組織があり、それぞれ会則に基づいた事業が行われています。近年は、母校の発展に寄与するべく通学・通信の枠を超えて、事業協力が展開されています。また、双方ともに全国に支部が配され、地域に根付いた活動も行われています。

## ■ 佛教大学同窓会

会 長：伊山喜二 会員数：68,218名(2023年5月1日現在 物故者含む)  
地域支部

2023年5月1日現在

47支部	北海道	青森	秋田	みちのく	関東	埼玉	千葉	神奈川	新潟	富山
	石川	福井	長野	岐阜	静岡	愛知	伊勢	伊賀	滋賀	京都
	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	出雲	石見	岡山	広島	山口
	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	三州
	沖縄	韓国	ハワイ	台湾	ブラジル	北米	中国			

## ■ 佛教大学鷹陵同窓会

会 長：河田茂美 会員数：38,908名(2023年5月1日現在 物故者含む)  
地域支部

2023年5月1日現在

53支部	北海道北	北海道東	北海道中央	北海道南	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島
	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	富山	石川
	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪
	神戸・兵庫	和田山	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島
	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島
沖縄	台湾	韓国								

## ■ 同窓会刊行物

2022年度

会 報：『紫野105号』(発行日 2022年7月25日付) 『紫野106号』(発行日 2023年1月1日付)

## ■ 主な事業

2022年度

記念品の贈呈	同窓会は卒業記念品、卒業10年記念品 鷹陵同窓会は会費完納者入会記念品
在学生支援	同窓会奨学金(年1回・給付型)、留学生学業支援、学園祭支援、課外活動奨励
ホームカミングデー	2022年11月5日(土)

# 教育後援会

佛教大学教育後援会は、学部生および別科生の保護者またはそれに代わる者で組織された会で、会則に基づいた事業が行われています。大学と家庭との連絡を緊密にする事業として、本学および各地で教育懇談会を開催。また、大学の教育振興に寄与する事業として、課外活動や学園祭への援助、奨学金など学生生活への支援を中心に展開されています。

## ■ 佛教大学教育後援会

会 長：兼岩和広

## ■ 教育後援会刊行物

会 報：『紫峰』入学お祝い号(発行日 2022年4月)  
『紫峰130号』(発行日 2022年12月)  
『紫峰』卒業・修了お祝い号(発行日 2023年3月)

## ■ 主な事業

### 教育懇談会

開催内容 2022年 7月16日(土) 京都会場 220名  
2022年10月15日(土) 京都会場 160名

春学期・秋学期とも対面にて開催。

後日大学公式YouTubeにて大学の現況報告等について動画を配信。

### 学生教育の振興

- ・宗教情操教育援助
- ・文化活動援助 賛同いただいた寺院の拝観料、美術館・博物館の入場料の全額または一部を補助

場 所	・知恩院(方丈庭園) ・清涼寺 ・龍安寺(石庭) ・直指庵(拝観休止) ・願徳寺 ・常照寺 ・高麗美術館 ・立命館大学 国際平和ミュージアム(2023年9月までリニューアル工事のため休館)
-----	---

※その他：京都秋季非公開文化財特別公開拝観料の補助およびキャンパスメンバーズ入会施設(京都国立博物館・奈良国立博物館)の入館料補助を実施。

- ・学生活動援助
- ・就職対策援助

### 教育後援会奨学金

### 短期貸付金事業

# | キャンパス・附置機関マップ

## ① 紫野キャンパス

〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町96  
Tel : 075-491-2141 (代表・通学課程)  
075-491-0239 (通信教育課程)



## ② 二条キャンパス

〒604-8418 京都市中京区西ノ京東梅尾町7  
Tel : 075-491-2141 (代表)・075-366-5660 (直通)



## ③ 岩倉キャンパス

(グラウンド・セミナーハウス)  
〒606-0017  
京都市左京区岩倉上蔵町222

## ④ 広沢キャンパス (グラウンド)

〒616-8306  
京都市右京区嵯峨広沢西裏町5-26

## ⑤ 園部キャンパス

(グラウンド・セミナーハウス)  
〒622-0044  
京都府南丹市園部町城南町大領1-1

## ⑥ オープンラーニングセンター

〒603-8301  
京都市北区紫野北花ノ坊町96  
佛教大学紫野キャンパス15号館  
Tel : 075-366-5511

## ⑦ 臨床心理学研究センター

〒603-8301  
京都市北区紫野北花ノ坊町96  
佛教大学紫野キャンパス15号館  
Tel : 075-491-2141 (代表)

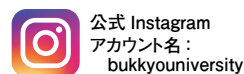
## ⑧ 宗教文化ミュージアム

(広沢キャンパス内)  
〒616-8306  
京都市右京区嵯峨広沢西裏町5-26  
Tel : 075-873-3115

## ⑨ 附属こども園 (広沢キャンパス内)

〒616-8306  
京都市右京区嵯峨広沢西裏町36-1  
Tel : 075-872-5327

佛教大学 公式 SNS



<https://www.bukkyo-u.ac.jp/>

〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町96 Tel : 075-491-2141 (代表)

編集・発行: 学長室広報課 発行日: 2023年7月1日



佛教大学